

The background features a dynamic, abstract composition of overlapping, curved lines in various colors (red, orange, yellow, green, blue, purple) that sweep across the page. Three dark blue arrows point upwards and to the right, following the curve of the lines. In the bottom left corner, there is a dark blue stylized logo consisting of three curved, petal-like shapes.

国立大学法人

名古屋工業大学

Nagoya Institute of Technology

概要 2016-2017

# 学長挨拶

～伝統を礎に、  
新たなグローバルステージへ～

名古屋工業大学は、科学技術のめざましい発展とともに歩み、中京地域の拡大、飛躍に支えられ、わが国屈指の工科系単科大学として成長してまいりました。

平成28年4月には、これまでの学科・専攻を再編し、6年一貫で教育する創造工学教育課程も新設し、新たなスタートを切りました。

また、世界各国の大学・研究機関からユニット単位で研究者を招き、研究力の強化と国際化を急速に進めながら、世界的研究拠点の形成を目指しています。さらに、産学連携でのトップクラスの実績をおおいに活かし、さらなる躍進をめざす地域企業を積極的に支援し、産業の国際的競争力強化に貢献しています。留学生支援体制の充実、海外事務所及び海外同窓会を活用した国際交流拠点の充実など、更なる国際化に取り組み、多様な人材との交流を通じて、「自ら育つキャンパス」作りに努めてまいります。

名古屋工業大学は、伝統と実績を揺るぎないものとし、これからも産業界、地域社会、そして卒業生から支持される魅力的な大学をめざしてまいります。名古屋工業大学は、未来を先取りした工学フィールドをいっそう開拓し、新たなグローバルステージへと踏み出します。

名古屋工業大学長

鵜飼裕之



# CONTENTS

- 1 名古屋工業大学憲章
- 2 役職員、経営協議会委員、教育研究評議会評議員
- 3 歴代の校長・学長
- 3 教員組織
- 4 平成28年度学年暦
- 4 大学の沿革
- 5 運営組織
- 6 教育研究組織
- 7 学部・大学院
- 10 附属図書館
- 11 センター等
- 17 学生生活上の施設
- 18 海外拠点
- 18 主な教育研究補助金採択状況
- 18 プロジェクト研究所
- 19 役員・教職員数
- 20 学生数
- 22 平成28年度入学状況
- 25 卒業者・修了者数
- 26 平成27年度卒業者・修了者の進学状況
- 27 平成27年度卒業者・修了者の就職状況
- 31 外国人留学生数
- 32 学術交流協定締結状況
- 33 平成27年度科学研究費助成事業
- 33 平成27年度知的財産収入
- 33 平成27年度財政状況
- 34 土地・建物
- 35 学内配置図
- 35 クラブ・サークル
- 36 アクセスマップ



名称及び数字については、  
平成28年5月1日現在のもの。  
(特に記載のあるものを除く。)

## 基本使命

名古屋工業大学は、日本の産業中心地を興し育てることを目的とした中部地域初の官立高等教育機関として設立されたことを尊び、常に新たな産業と文化の揺籃として、革新的な学術・技術を創造し、有為な人材を育成し、これからの社会の平和と幸福に貢献することをその基本使命とする。



### ものづくり

名古屋工業大学は、構成員の自由な発想に基づく実践的かつ創造的な研究活動を尊ぶとともに地球規模での研究連携を推進し、既存の工学の枠組みにとらわれることなく、工学が本来有する無限の可能性を信じ、新たな価値の創造に挑戦する。

### ひとづくり

名古屋工業大学は、自ら発見し、創造し、挑戦し、行動することで、工学を礎に新たな学術・技術を創成し世界を変革することのできる個性豊かで国際性に富んだ先導的な人材の育成に専心する。

### 未来づくり

名古屋工業大学は、国民から負託を受けた開かれた大学として地域および国際社会との調和と連携を重視し、ものづくりとひとづくりを通して平和で幸福な未来社会の実現に向けて邁進する。

# 役職員、経営協議会委員、教育研究評議会評議員

## ■役職員

学 長	鵜 飼 裕 之
理 事・副 学 長	木 下 隆 利
理 事・副 学 長	内 匠 逸
理 事・事 務 局 長	小 椋 史 朗
監 事	雑 賀 正 浩
監 事	二 村 友 佳 子

副 学 長	小 畑 誠
副 学 長	江 龍 修
副 学 長	春 日 敏 宏
副 学 長	井 門 康 司
副 学 長	犬 塚 信 博
附 属 図 書 館 長	内 匠 逸

## ■経営協議会委員

### 学内委員

鵜 飼 裕 之	学 長
木 下 隆 利	理 事
内 匠 逸	理 事
小 椋 史 朗	理 事
江 龍 修	副 学 長
小 畑 誠	副 学 長

### 学外委員

(五十音順)

浅 野 幹 雄	豊田通商株式会社代表取締役副社長
伊 藤 正 彦	株式会社デンソー取締役専務役員
生 方 眞 哉	株式会社生方製作所代表取締役会長
郡 健 二 郎	公立大学法人名古屋市立大学理事長・学長
榊 直 樹	学校法人東邦学園愛知東邦大学理事長・学長
堀 龍 之	丸の内総合法律事務所代表弁護士
水 谷 良 亮	中部電力株式会社顧問
宮 内 一 公	トヨタ自動車株式会社専務役員
森 岡 仙 太	愛知県副知事

## ■教育研究評議会評議員

学 長	鵜 飼 裕 之
理 事	木 下 隆 利
理 事	内 匠 逸
理 事	小 椋 史 朗
副 学 長	小 畑 誠
副 学 長	江 龍 修
副 学 長	春 日 敏 宏
副 学 長	井 門 康 司
副 学 長	犬 塚 信 博
附 属 図 書 館 長	内 匠 逸
お も ひ 領 域 長	一 瀬 郁 夫
し く み 領 域 長	石 橋 豊

つ く り 領 域 長	水 野 直 樹
な が れ 領 域 長	瀬 口 昌 久
生 命・応 用 化 学 教 育 類 長	福 田 功 一 郎
物 理 工 学 教 育 類 長	西 野 洋 一
電 気・機 械 工 学 教 育 類 長	岩 崎 誠
情 報 工 学 教 育 類 長	松 尾 啓 志
社 会 工 学 教 育 類 長	前 田 健 一
創 造 工 学 教 育 類 長	猪 股 克 弘
基 礎 教 育 類 長	多 賀 圭 次 郎
先 進 セ ラ ミ ッ ク ス 研 究 セ ン タ ー 長	井 田 隆
工 学 教 育 総 合 セ ン タ ー 長	森 秀 樹

## ■事務局

事 務 局 長	小 椋 史 朗
事 務 局 次 長	磯 部 剛 利
事 務 局 次 長	小 野 寺 昌 勝
学 務 課 長	三 田 晴 伸
学 生 生 活 課 長	福 本 英 基
研 究 支 援 課 長	吉 田 正 男
学 術 情 報 課 長	黒 柳 裕 子
総 務 課 長	上 野 哲 也
企 画 広 報 課 長	三 浦 潤 一

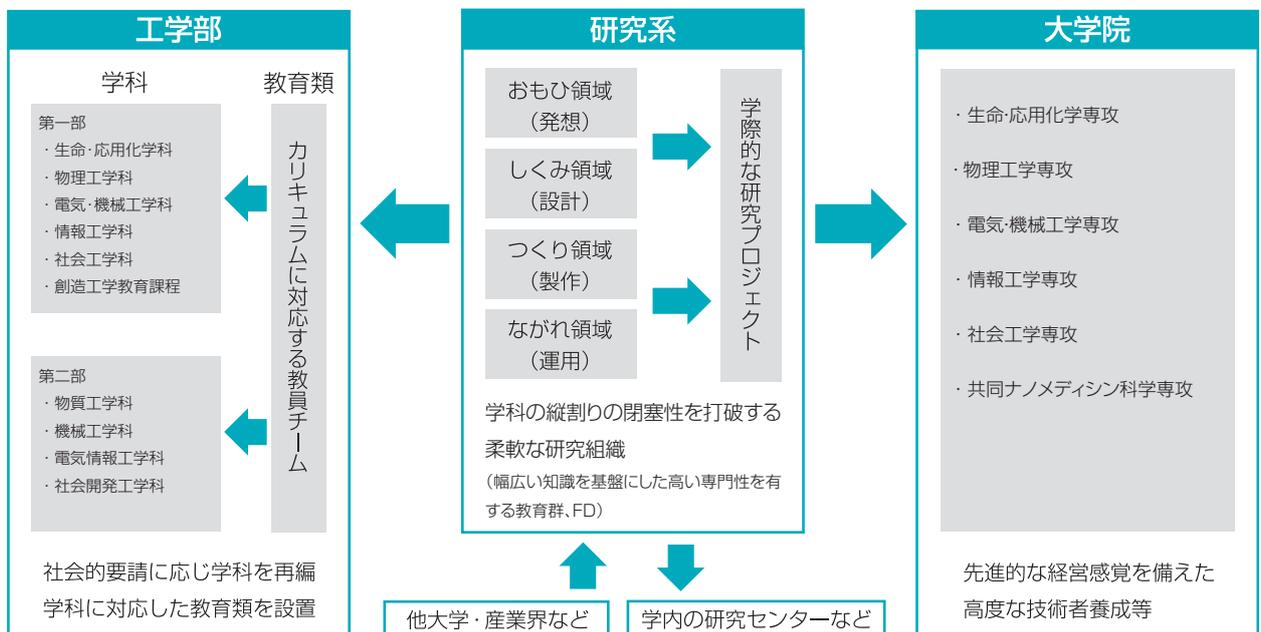
人 事 課 長	鎌 澤 幸 彦
財 務 課 長	廣 岡 信 行
経 理 課 長	前 田 輝 伸
施 設 企 画 課 長	塚 谷 利 泰
技 術 部 長	小 畑 誠
技 術 部 次 長 (計 測 分 析 課 長)	玉 岡 悟 司
装 置 開 発 課 長	安 形 保 則
情 報 解 析 技 術 課 長	服 部 博 文

# 歴代の校長・学長

歴代の校長・学長、教員組織

区 分	氏 名	在 職 期 間
名古屋高等工業学校長	土 井 助 三 郎	明治38年 4月 ~ 大正 7年 4月
	武 田 五 一	大正 7年 4月 ~ 大正 9年 9月
	森 彦 三	大正 9年 9月 ~ 昭和 8年 9月
	土 屋 純 一	昭和 8年 9月 ~ 昭和14年 9月
名古屋工業専門学校長	平 田 徳 太 郎	昭和14年 9月 ~ 昭和20年11月
	結 城 朝 恭	昭和20年11月 ~ 昭和23年 8月
	清 水 勤 二	昭和23年 8月 ~ 昭和26年 3月
愛知県立高等工業学校長	(事務取扱) 平 田 徳 太 郎	昭和18年 2月 ~ 昭和18年 9月
愛知県立工業専門学校長	造 賀 常 一	昭和18年 9月 ~ 昭和26年 3月
名古屋工業大学長	清 水 勤 二	昭和24年 5月 ~ 昭和34年 5月
	佐 藤 知 雄	昭和34年 5月 ~ 昭和44年 2月
	(事務取扱) 城 戸 久	昭和44年 2月 ~ 昭和44年 9月
	(事務取扱) 村 井 忠 一	昭和44年10月 ~ 昭和44年11月
	(事務取扱) 山 田 保	昭和44年11月 ~ 昭和45年 1月
	(事務取扱) 森 島 宗 太 郎	昭和45年 1月 ~ 昭和45年10月
	森 島 宗 太 郎	昭和45年11月 ~ 昭和47年10月
	佐 野 幸 吉	昭和47年11月 ~ 昭和53年10月
	武 藤 三 郎	昭和53年11月 ~ 昭和59年10月
	太 田 正 光	昭和59年11月 ~ 平成 2年10月
	吉 田 彌 智	平成 2年11月 ~ 平成 8年10月
	岡 島 達 雄	平成 8年11月 ~ 平成12年10月
	柳 田 博 明	平成12年11月 ~ 平成16年 1月
	松 井 信 行	平成16年 1月 ~ 平成22年 3月
	高 橋 実	平成22年 4月 ~ 平成26年 3月
鶉 飼 裕 之	平成26年 4月 ~	

# 教員組織



# 平成28年度学年暦

## 前期（4月1日～9月30日）

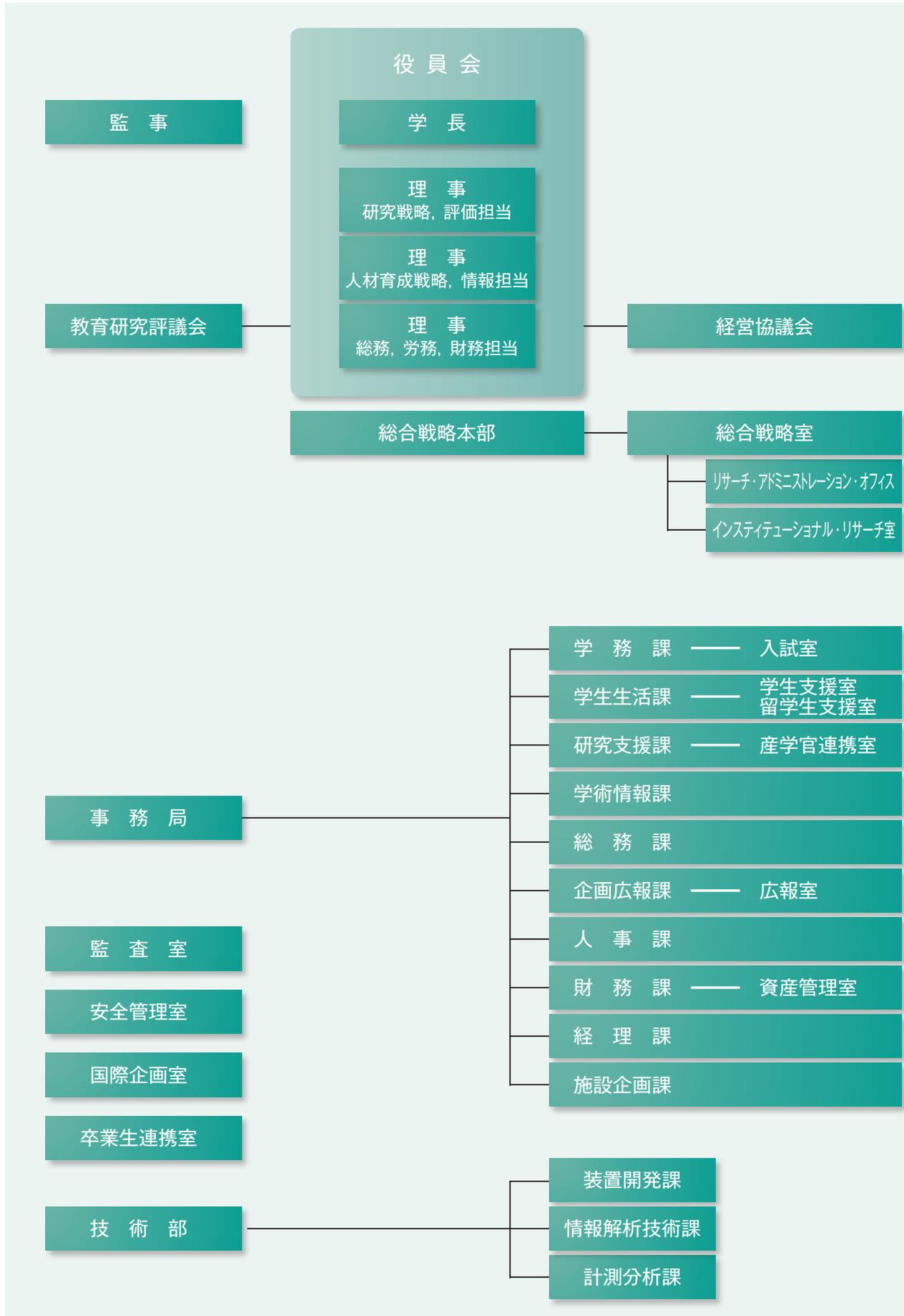
学年始め	4月 1日
入学式	4月 6日
前期授業開始	4月 7日
夏季休業	8月4日～9月30日

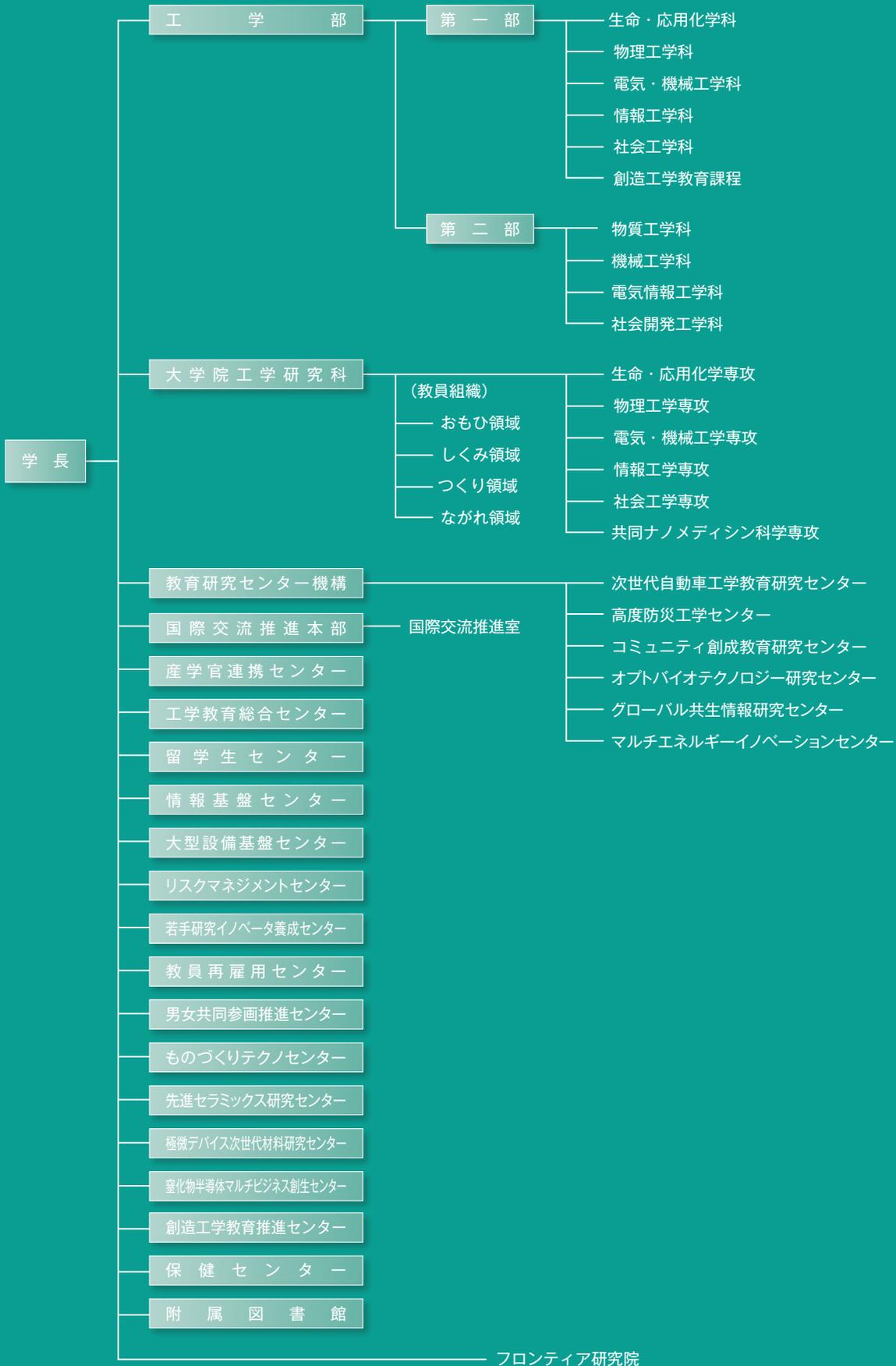
## 後期（10月1日～3月31日）

後期授業開始	10月 3日
名古屋工業大学記念日	11月 1日
ホームカミングデー	11月 3日
工大祭	11月19日～20日
冬季休業	12月24日～1月6日
春季休業	2月21日～3月31日
学位記授与式	3月23日
学年終わり	3月31日

# 大学の沿革







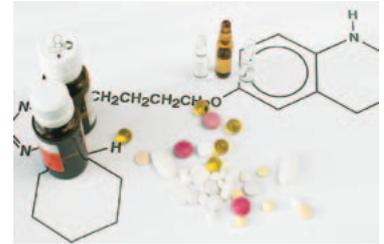
## 工学部（第一部）・工学研究科

### 生命・応用化学科

環境問題やエネルギー問題等の重要課題を解決するため、分子設計、有機・無機合成、生命現象解析、高分子材料、材料物性評価、分析技術、構造解析、理論計算、物理化学現象、プロセス設計等の幅広い化学的知識を学び、新規材料の創製や、生命機能の解明・再生等のための知識と技術を習得します。

分野

- 生命・物質化学
- ソフトマテリアル
- 環境セラミックス



### 生命・応用化学専攻

分子レベルでの性質解明と生命機能解明をするための知識、材料特性の設計、エネルギー変換、情報交換・伝達を学び、工学材料の開発、創薬や生体材料、環境調和性の高い材料や生命機能に学んだ様々な機能性材料の開発のための高度な知識・技術を習得します。

分野

- 生命・物質化学
- ソフトマテリアル
- 環境セラミックス



### 理工学学科

地域・産業の発展と持続可能な社会の実現には、新しいシミュレーション解析やナノスケール計測技術の創成とイノベーションに不可欠な革新的機能材料の開発が求められており、そのためには「材料機能」と「応用物理」の学術分野を融合させた試みが重要です。

分野

- 材料機能
- 応用物理

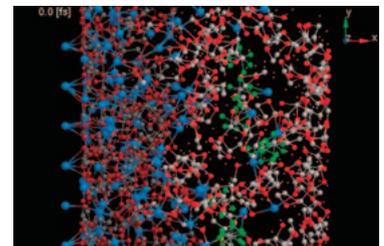


### 理工学専攻

理工学を機軸とする幅広い基盤分野に基づき、凝縮相・極限相中の重要な素過程を原子・分子レベルから解明し、ナノ組織や電子構造の制御を実践する技術を学ぶことで、環境・エネルギー問題の解決に寄与する革新的材料や機能デバイスを創成できる人材の育成を目指します。とくに、先進的なシミュレーション解析技術、ナノスケール計測と物性評価技術、材料物性・機能制御技術などに焦点をあてた教育と研究を行います。

分野

- 材料機能
- 応用物理



### 電気・機械工学科

自動車・鉄道・電気製品をはじめとする今日の私たちの身の回りの製品は、電子部品と機械部品の巧みな組み合わせによって設計されています。これらを実現するための原理や連携技術から、これらを作る生産技術まで、電気電子工学と機械工学の広範な知識と応用力を持った技術者教育が本学科の特色・強みです。教育目標に根ざして、本学科は2つのプログラムを用意しています。

分野

- 電気電子
- 機械工学



### 電気・機械工学専攻

電気・機械工学専攻は、生活を豊かで実りあるものにするために、基幹分野として多様な工業技術・科学技術の創出を支える高度な教育と研究を行っており、電気電子工学、機械工学の学問的基礎を確実に踏まえ、かつ相互の連携を図りながら、革新的な技術創出を通じてイノベーションに貢献する人材を育成します。

分野

- 電気電子
- 機械工学



## 情報工学科

情報工学科は、現代社会の基盤となるネットワーク技術、知能情報技術、メディア情報技術を踏まえ、次世代の新しい情報システムを実現できる人材、人にやさしい高度情報化社会をつくりあげていくことのできる人材を育成します。また、豊かな情報化社会に向けて既存の理論や技術を発展させ、高度な理論や技術を研究開発できる能力と感性を備えた人材を育成します。

分野

- ネットワーク
- 知能情報
- メディア情報



## 情報工学専攻

情報工学専攻は、理工学手法を用いた情報数理、計算機科学、人工知能と人工生命、ソフト情報工学とハード情報工学の融合など、情報の科学と工学に関する高度な教育と研究を行うことにより、各技術分野を基盤とした視野で、先端的な高度情報化の社会形成を通して、人類の発展に寄与できる人材を育成します。

分野

- ネットワーク
- 知能情報
- メディア情報
- 情報数理

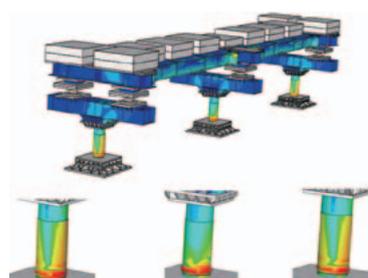


## 社会工学科

広く人間をとりまく建築、デザイン、社会基盤整備、国土形成、環境、防災、経営工学、システム・マネジメントなどに関する課題を解決するため、持続可能な社会を構築できる高度な工学的知識と実践する能力を持つ人材を育成します。このために、本学科は建築・デザイン、環境都市、経営システムの3つの分野から構成されています。

分野

- 建築・デザイン
- 環境都市
- 経営システム



## 社会学専攻

社会学専攻では、建築・デザイン、環境都市、経営システムに関する課題を解決できる高度な教育と研究を通して、持続可能な社会を構築し、学際的新領域の創成に貢献できるリーダー的人材を育成します。

分野

- 建築・デザイン
- 環境都市
- 経営システム



## 創造工学教育課程

創造工学教育課程は、未来の産業や社会を工学技術によって変革する技術者・研究者を育成することを目的としています。2016年に新たに開設されました。学部4年間と大学院博士前期課程2年間に接続した6年一貫の学習、分野横断的に設計するカリキュラム、研究室ローテーションなどの実践的授業を提供し、幅広い工学分野のセンスをもった総合的エンジニアを育成します。

コース

- 材料・エネルギー
- 情報・社会

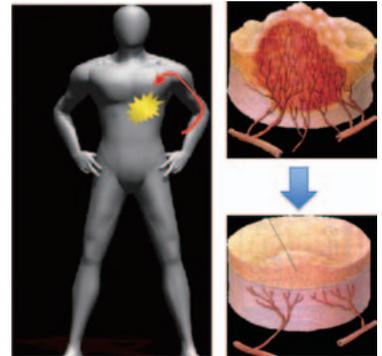


## 共同ナノメディシン科学専攻

共同ナノメディシン科学専攻では、名古屋工業大学工学研究科と名古屋市立大学薬学研究科が連携して、最先端の薬学とナノ工学を駆使し、薬を【つくる】機能医薬創成学部（内容：高度精密有機合成、ナノメディシン工学、バイオテクノロジー）、【輸送する】薬物送達・動態科学部門（内容：薬物送達科学、薬物動態科学、人工蛋白質工学）、そして【評価する】医薬支援ナノ工学部門（内容：ナノ生体医工学、バイオメカニクス、ナノイメージング）の3つの部門において、教育・研究を行い、薬工両面に精通し、新薬・機能性食品・化粧品などの研究開発のコアメンバーとなる人材を育成します。

部門

- 機能医薬創成学
- 薬物送達・動態科学
- 医薬支援ナノ工学



## 工学部（第二部）

### 物質工学科

「化学」は、生命及び生体やエネルギー・地球環境など、我々を取り巻く様々な物質や現象と深く関わっています。本学科では、「化学」を基本とした教育を通して、幅広い視野から創造的な発想でものづくりができ、産業・社会の発展において中核的役割を担う技術者・研究者を育成することを目的としています。この目的の達成のために、工学としての基礎学力及び化学物質の構造と性質、生体・生命関連物質の構造と機能、エネルギー変換・創成に関する知識の習得、そして、これらを地球環境の保全、資源・エネルギー循環と調和した「ものづくり」技術へ応用する力の涵養を目指した教育を行っています。

### 機械工学科

第二部機械工学科では、第一部電気・機械工学科の機械工学分野と同様に講義・演習・実験・実習を通じて、機械の運動、物質やエネルギーの移動、材料の強度特性、機械の制御に関する正しい知識を学びます。その対象はマイクロ電子デバイスから航空宇宙、固体（粉体含む）・液体・気体、あるいは金属・樹脂・生体材料と多岐に及びます。卒業後は社会に役立つ環境にも調和した機械を開発・設計できるような、実践的で高度な技術者を養成することを教育目標としています。また、第二部機械工学科では4年生の後期に「技術士補」の資格取得をめざしたカリキュラムが組まれています。

### 電気情報工学科

電気情報工学科は、現代のエレクトロニクス社会を支える、電子物性・電子デバイス・電気エネルギー・回路システム・情報通信・計算機に関する知識と技術を習得した技術者の養成を行います。最初は基礎となる数学・物理学のほか、プログラミング・電磁気学・電気回路などを学びます。続いて、専門科目の基礎として電気電子材料・情報工学などを学習し、その後電子デバイス・電力工学・制御工学・通信工学・計算機工学などを学びます。以上のように、自己の特性と学問的興味により、専門分野の先端技術を幅広く体得することができます。

### 社会開発工学科

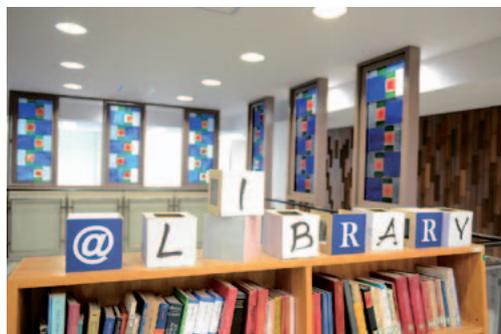
私たちの安全・快適な社会生活を支える基盤施設には、道路、港、空港といった交通施設、上下水道、公園といった都市施設、ダム、各種発電所などのエネルギー生産施設、河川堤防や海岸護岸などの防災施設があります。本学科では、これらの重要な施設整備に関わる、都市・交通計画、地盤防災、構造耐震、構築材料、河川海岸防災、生態保全等の工学技術を修得することで、国や自治体の技術系公務員や、計画・設計会社、建設会社等の幅広い職域で活躍できる技術者を養成します。具体的な専門のカリキュラムは、本学第一部社会工学科環境都市分野のものを参考に作成されています。

## 附属図書館

附属図書館は、本学の学術情報に関する中心機関として、図書及びその他の資料を収集・管理し、学生・職員に提供し、教育、研究及び総合的教養の向上に資することを目的としています。グループ学習のための個室や一人で集中して学習できるコーナーを設置し、文献収集法の講習を実施するなど学生の能動的な学習を支援しています。

### 開館時間

曜日	通常期間中	休業期間中
月～金	8:45～21:45	8:45～16:45
土日祝日	8:45～16:45	



### 利用状況

平成27年度

開館日数	325日
入館者数	290,353人
貸出冊数	43,993冊
文献複写	1,115件

4階	学術雑誌（技術・工学）、セミナー室
3階	学術雑誌（自然科学、技術・工学、産業）、研究ブース、セミナー室、新着雑誌コーナー、大学資料室、国際交流コーナー
2階	図書（技術・工学、芸術、言語）、学術雑誌（社会科学、自然科学）、PC/AVコーナー、メディア室、自由閲覧室、セミナー室、地域連携コーナー、パソコンコーナー、集密書庫、リフレッシュコーナー
1階	図書（自然科学、技術・工学、総記、哲学、歴史、社会科学、文学、産業）、カウンター、情報検索コーナー、ブラウジングコーナー、インフォメーションコーナー、集密書庫
地下	閉架集密書庫

### 蔵書数

平成27年度末現在

媒体	和	洋	計
図書	263,038冊	211,501冊	474,539冊
雑誌	2,372種	3,146種	5,518種
電子ブック	436	19,152	19,588
電子ジャーナル	536	7,011	7,547



### リポジトリ利用状況

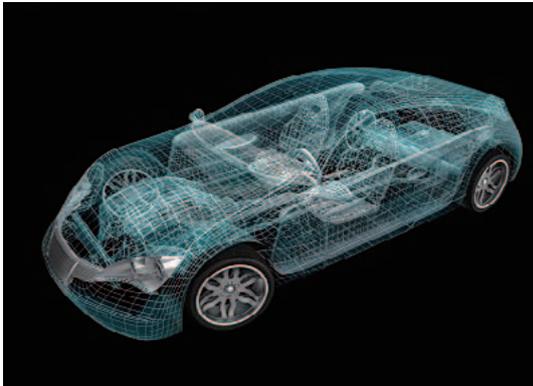
平成27年度末現在

アイテム数	4,118
アクセス数	334,370
ダウンロード数	1,503,907

名古屋工業大学機関リポジトリ (<http://repo.lib.nitech.ac.jp>)  
名古屋工業大学内で生産された学術情報（博士論文や教員の発表論文など）を検索・閲覧できます。



■次世代自動車工学教育研究センター



センター長 佐野 明人

次世代自動車工学教育研究センターは、エネルギー問題及び環境問題を一体的に解決する次世代自動車関連分野の研究、産業に結び付く次世代自動車技術の確立等を行うとともに、次世代自動車技術に関わる教育を行うことを目的としています。

生産技術分野、動力制御分野、パワーエレクトロニクス分野に渡る研究・開発を行うとともに、「工場長養成塾」、「3D-CAD設計技術者育成講座」や本センターの研究・開発部門のリソースを活用した教育プログラムの創成を行います。

■高度防災工学センター



センター長 井戸田 秀樹

災害を予測・軽減・制御する技術の開発、巨大災害のプロセス、災害ポテンシャルの評価を通じて世界をリードする防災工学の拠点を形成します。諸工学に立脚した防災・減災サービスのフレーム構築及び社会実装を通じて災害に強い地域社会の構築に寄与することを目的としています。

研究分野は、災害制御研究部門、災害対応サービス研究部門、プロジェクト推進室です。

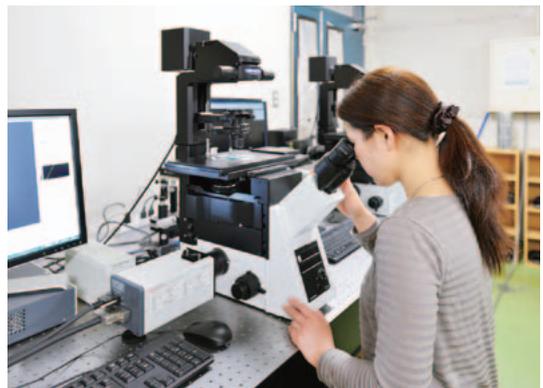
■コミュニティ創成教育研究センター



センター長 秀島 栄三

世界に先駆けて超高齢社会となった日本ではこれまで以上に科学技術の貢献が期待されています。とは言え、高齢者のケアだけに偏った技術貢献では社会の発展が望めません。いま求められているものは、高齢者が持続的に社会参加できる技術貢献です。それには工学と人文社会科学が融合することを通じて実現可能となる「高齢者の生活空間を視座とした技術貢献」という新しい発想が不可欠です。本センターは、こうした観点から、本学初の文理融合型センターとして、地域コミュニティを中心に多世代共生が可能となるような技術のあり方を理念的に追求すると同時に、実際に現場に出て、フィールドワークを通じて見出される、実践的な日常技術のあり方を追求することを目的としています。

■オプトバイオテクノロジー研究センター



センター長 神取 秀樹

光を利用した生命現象の研究は、2008年のノーベル賞につながった「光観察」に加えて、最近では脳研究に革命をもたらしている Optogenetics (光遺伝学) など「光操作」技術が大きな注目を集めている萌芽的な学問分野です。本センターは、光が関わる生命現象を工学として解析することにより、全く新しい産業の創出に貢献することを目指します。このため、光の本質や光励起現象を正しく理解し、新しい材料を生物から、あるいは生物に範を得て創製するとともに、光を利用した医療分野への展開を図ります。

例えば、光駆動イオンポンプである膜タンパク質・ロドプシンは、すでに光遺伝学の重要なツールとして使われていますが、ツール開発により、さらなる発展が期待されます。本センターは3つの部門が連携して研究を遂行するとともに、学外との異分野融合も積極的に推進します。

## ■グローバル共生情報研究センター



センター長 佐藤 淳

今日では、急速なグローバル化により、言語・文化・歴史観・価値観・精神身体機能等の相違や多様性に起因する様々な社会問題が発生しています。例えば、価値観や歴史観などの相違に基づく国際問題は年々深刻さや複雑さを増しています。

本センターは、このようなグローバル社会の様々な歪を取り除き地球規模での共生と持続可能な発展をもたらす共生情報技術の開発を目指します。特に、言語、文化、歴史観、価値観、精神機能、身体機能等の差異や多様性を情報技術によって補うことで、人々が互いの相違を越えてコミュニケーションを取り合意形成を行うことを支援する情報技術や、非健常者が積極的に社会に参画しその能力を活かすことのできる情報技術の研究開発を進めています。

## ■マルチエネルギーイノベーションセンター



センター長 種村 眞幸

クリーンエネルギーの創出は益々その緊急性と重要性を増しています。同時に、クリーンエネルギー源は実に多様であることも事実です。本学では、個々の要素技術として、多様な「創エネ」、「蓄エネ」、「省エネ」、「送エネ」の各技術開発の芽が育っています。本センターは、これらの要素技術を集積し有機的に結合させることで全体を俯瞰するトータルエネルギー創出・利用システム構築に関する先端的研究を集約的に行うとともに、それによってイノベーションを創出するための国際的に活躍できる人材の育成を目的としています。

## ■産学官連携センター



センター長 江龍 修

教育・研究・産学官連携は名古屋工業大学の三本柱です。産学官連携センターは本学の産学官連携推進の中核的組織として、ワンストップ窓口の機能を充実し、産業界等との連携を推進しています。

組織として、本学の産学官連携戦略の推進強化を図るため、企画・管理機能を持つ企画・管理部門と、技術移転の支援及びリエゾン活動を実践する知財活用部門の2部門で構成しています。

## ■工学教育総合センター



センター長 森 秀樹

工学教育総合センターは、入学から修学、卒業及び就職に至るまでを総合的に把握した上で、継続的な学生支援を推進すると同時に、本学の工学教育の質を向上することを目的としています。そのため、アドミッションオフィス、創造教育開発オフィス、キャリアサポートオフィスの3つのオフィスを設置し、互いに連携を持ちながら活動しています。

## ■留学生センター



センター長 山本 いずみ

留学生センターは、外国人留学生の就学を支援するために、3つの日本語コース（補講コース・予備教育コース・社会人教育コース）と家族向け日本語クラスを開講しています。各コースは目的別・レベル別にクラス分けされており、初級からビジネス日本語まで、様々なニーズに応じた授業を実施しています。また、産業文化に関する見学旅行や日本文化講座、キャリアサポート・セミナー等を行うことで、留学生がグローバル人材として育ち、活躍することを支援します。さらに、多文化見学旅行など、留学生と日本人学生がともに学ぶ機会を増やすことで、キャンパスのグローバル化に貢献するセンターとして活動しています。

## ■情報基盤センター



センター長 松尾 啓志

情報基盤センターは、名古屋工業大学内への電子情報基盤の提供と、この基盤を活用した教育、研究支援を行う組織として、平成18年4月に発足しました。情報基盤センターは、データベース部門、コースマネジメントシステム部門、及びネットワーク・セキュリティ部門の3部門から構成されています。学内の情報インフラを提供するとともに、新しい事務システム、教育システムの開発も行っています。さらに情報基盤センターでは、情報ネットワーク、情報メディア、情報セキュリティの研究を行っています。

## ■大型設備基盤センター



センター長 江龍 修

大型設備基盤センターは、学内の大型教育研究設備を管理運営し、学内外の共同利用を推進するとともに、大型教育研究設備の計画的整備を目的として、平成19年4月に発足しました。主な業務として、先端計測分析技術による学内外への教育研究支援、計測分析技術に関する基礎研究ならびに開発研究を行っています。これまでに参画してきた文部科学省の2事業(設備サポートセンター整備事業、先端研究基盤共用・プラットフォーム形成事業「表面分析装置の共同利用による材料開発の高度化」)をベースに、支援体制の一層の強化をはかると共に、中部地区をはじめとする民間企業等の研究開発支援(受託試験)にも力を入れています。

## ■リスクマネジメントセンター



センター長 鵜飼 裕之

リスクマネジメントセンターは、災害、事件、事故などにより、大学構成員の生命や身体、大学の財産、名誉などに重大な損害が及ぶような状況において、迅速な対策を行うことで被害を最小限に抑え、大学の機能を維持することを目的としています。

リスクマネジメントセンターに防災安全部門とリーガルリスク部門の2つの部門を置き、非常時の対応とともに、平常時より危機管理を行います。

## ■若手研究イノベータ養成センター



センター長 内匠 逸

若手研究イノベータ養成センターは、平成21年の文部科学省科学技術振興調整費に「産学官連携による若手研究イノベータの養成」プログラムが採択されたのを受けて設置され、先導的融合分野で国際的な水準で活躍しイノベーションの創出や新研究領域の開拓に取り組む若手研究者(若手研究イノベータ)を養成してきました。現在は、平成25年に採択された「テニユアトラック普及・定着事業」の運営を担いつつ、平成27年以降に新規採用されたすべての助教の評価を行うと共に、全学的な観点から若手研究者の育成に努めています。

## ■男女共同参画推進センター



センター長 藤岡 伸子

男女共同参画推進センターは、文部科学省科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業(一般型)」の採択を機に、2014年12月に設置され、ダイバーシティの推進と女性研究者の支援を開始しました。本センターには4つのミッション【女性研究者支援】、【問題発見・解決】、【女性研究者コミュニティ形成支援】、【企画広報・裾野拡大】があり、それぞれにおいて実効性ある施策を企画立案して実施しています。また、「ワークライフバランス相談室」をセンター内に併設し、男女共同参画に関するさまざまな問題や困難の発見・解決を図り、性別を超えて全ての大学構成員が享受できる、快適で生産性の高い研究教育環境の整備に務めています。

## ■ものづくりテクノセンター



センター長 北村 憲彦

学生及び社会人に対し高度な実践的ものづくり教育を行うとともに、ものづくり教育システムの開発を行うことを目的としています。主な業務として、実践的なものづくり実習教育の実施、ものづくり教育システムの開発、社会人を対象とするものづくり教育の実施、教育研究用機器・機材の製作及び支援、学科・専攻横断型教育研究プロジェクトの実施と支援などを行っています。

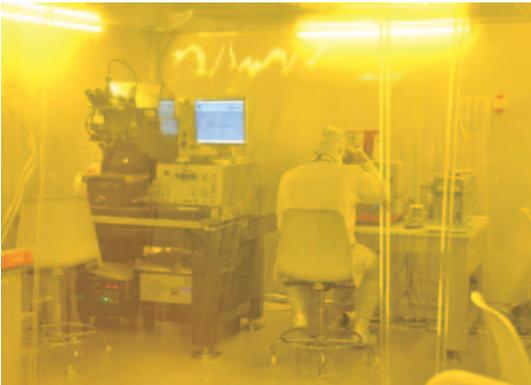
## ■先進セラミックス研究センター



センター長 井田 隆

地球規模で直面する環境・資源・エネルギー問題を解決し、持続型社会の構築を実現するため知的マテリアル創製学を核とし、地域の資源と技術が融合することで発展してきたセラミックス産業文化を範として、地域に即した多様な新価値を探索する国際的・学際的・融合的な先進セラミックスの工学研究を実施し、社会に還元することを目的としています。

## ■極微デバイス次世代材料研究センター



センター長 江川 孝志

新規半導体材料及び新機能デバイス・システムの研究開発並びに産業・生産技術に直結した技術の確立等を行い、これを通して教育・研究の進展に資することを目的としています。

研究分野は、ナノ構造の結晶成長及び物性評価、発光デバイス（LED、レーザー）、電子デバイス、フォトディテクター、超高効率太陽電池です。

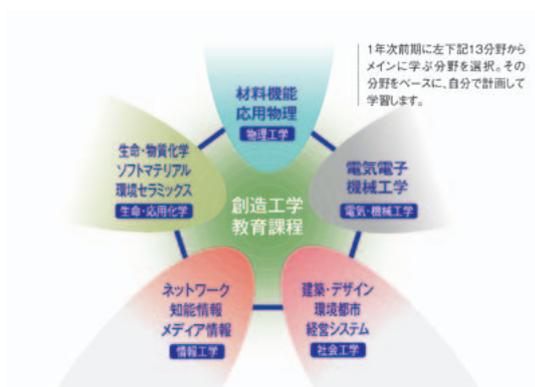
## ■窒化物半導体マルチビジネス創生センター



センター長 江川 孝志

本学が、世界に先駆けて研究開発を進めてきた「Si 基板上に極薄の GaN 膜を成長させる (GaN/Si) 結晶成長技術」を核として、装置・材料・デバイス等の関連企業と一体となり、現在の Si 半導体の高性能化・高付加価値化により省エネルギー化を実現でき、既存の国内 Si 半導体製造ラインを有効活用し、電力供給問題解決の一助となる大電力用パワーデバイスを開発する産学官連携体制を構築。一つ屋根の下型の研究開発拠点を形成し、当該分野における持続的な実用化研究開発を進めています。

## ■創造工学教育推進センター



センター長 犬塚 信博

名古屋工業大学は、科学技術の深い理解と工学方法論の確かな理解を基礎として、分野横断的な視野と多面的価値観を身につけさせるための新たな教育課程として創造工学教育課程を設置しました。創造工学教育推進センターは創造工学教育課程と関連する名古屋工業大学の教育を充実させ、その結果を評価することを目的としています。

創造工学教育課程の設計及び評価を行う企画評価部門、教育に関する国際連携のコーディネーション及び教材作成等を行う国際連携教育推進部門、産学官課題解決型学習の支援及び、地域連携型体験学習のコーディネーション等を行う産学官連携教育推進部門を置いています。

## ■保健センター



センター長 中野 功

保健センターは大学構成員の健康支援を使命とし、疾病の早期発見・早期治療、再発予防、発症予防そして健康増進を目指しています。内科及び精神科医師（校医、産業医）、看護師、保健師、カウンセラーによる職員及び学生の健康支援、職場巡視も行っています。また、健康相談を行うとともに安全衛生委員会、教務学生委員会、安全管理室等と連携し、定期健康診断、特殊健康診断と有所見者の事後措置を実施しています。

## ■フロンティア研究院



材料科学フロンティア研究院長 柿本 健一

情報科学フロンティア研究院長 徳田 恵一

本学の教育研究機能の更なる強化を図り、卓越した研究成果を創出しうる人材を継続的に輩出する場を構築するため、本学の研究実績を基に若手研究者を主体に構成する材料科学フロンティア研究院と情報科学フロンティア研究院が置かれています。

学内資源の重点配分により国際共同研究を推進し、環境エネルギー分野、ヘルスケア分野及び知能技術分野を核とした国際的なイノベーションの展開を担うとともに、新しい学問分野や産業分野の創出を牽引するイノベーション・リーダーを育成し、地域及び産業の発展に貢献することを目的としています。

## 学生生活上の施設

### ■ 大学会館



大学会館は、大食堂、カフェテリア方式食堂、喫茶室、購買、理髪店のほか、学生が利用できる就職資料室、女子談話室、集会室、課外活動施設（5室）等の機能を備え、目的に合った使用ができるようになっています。

### ■ NITech マート



NITech マートは、1階はコンビニ「はじっこ」、2階は「ラウンジカフェ」となっており、昼夜利用することができます。また、「はじっこ」内には、ATMが設置されているほか、「ラウンジカフェ」は食事の場だけでなく、コミュニケーションの場として利用することができます。

### ■ ATM 1号館1階



1号館1階にはゆうちょ銀行のATMが設置されています。

### ■ 木曽駒高原セミナーハウス



セミナーハウスは、本学の学生・職員の研修及び健康増進を図るために設けられた施設です。長野県木曽郡木曽町の木曽駒が岳の山麓で正面に御岳を臨む風光明媚なところにあります。課外活動、クラブ、研究室等の活動、研修、親睦等に利用できます。

### ■ 課外活動施設



学生がスポーツや芸術に打ち込んだり、趣味を共有する仲間と出会い活動できる場として、御器所地区には、合宿所、弓道場、体育館、プール、運動場などの施設があり、千種地区には、合宿所、野球場、グラウンドなどの施設があります。また、学外には、馬場、ボート艇庫、ヨット艇庫があります。

### ■ 保健センター



保健センターは、大切な学生みなさんの健康について専門的な支援を行う施設です。学生の健康維持・増進、疾病の早期発見、予防等を目的として、健康診断、健康相談、健康指導等を行っています。

### ■ 学生寮（恒和寮）



恒和寮は、学生生活のための良好な環境を提供し、規律ある共同生活を通して教養を高め、学園生活の充実に資するために設けられた学生寮です。

### ■ ゆめ空間 19号館1階



学生が集い、語らい、学習することができるフリースペースとして「ゆめ空間」があります。1階を集いの場とする動の空間として飲食もできるスペース、2階は自学自習の場とする静の空間として、自由に利用できるPCも設置されている学習スペースとなっています。

### ■ ゆめルーム 53号館1階



学生の集いの場に焦点をあてたフリースペースとして「ゆめルーム」があります。「ゆめルーム」は開放的で明るい空間となっており、隣には大学生協ショップ「かどっこ」があるなど、学生同士の交流がより活発にできる学生交流スペースとなっています。

### ■ ゆめ広場 19号館北側



キャンパス屋外の憩いの広場として「ゆめ広場」があります。「ゆめ広場」は学生からアイデアを募った学内コンペティションを経て造られました。デッキはゆっくり読書をしたり、友人同士でランチをしたりと、学生がのんびりくつろげる空間です。

### ■ 自習ルーム・自習室 23号館2階、52・53号館各階



授業の合間等に予習・復習ができる場所として23号館2階に自習室、52・53号館講義棟の各階に自習ルームがあります。学習机は、隣席との間に衝立を備えた仕様となっており、静穏な学習環境を用意しています。

### ■ 国際交流会館



国際交流会館は、本学が推進する諸外国との教育及び研究上の国際交流に寄与することを目的として設けられた外国人留学生及び外国人研究者の居住用の施設です。留学生の入居開始は毎年4月と10月、入居期間は6か月以内です。留学生たちが会館のロビーや和室で会合やパーティーを開くこともできます。

## 海外拠点

共通連絡先：intpromo@adm.nitech.ac.jp

### ■名古屋工業大学北京事務所

所長 藤 正督

中国における海外拠点として、北京化工大学内に平成23年6月に設置されました。

情報の発信、留学希望者に対する情報提供や支援、本学と諸外国の研究者による共同研究等の支援や学術・教育交流の推進等を目的としています。

### ■名古屋工業大学マレーシア事務所

所長 曾我 哲夫

マレーシアにおける海外拠点として、マラ工科大学内に平成25年3月に設置されました。

セミナーやシンポジウムの開催及び本学とマレーシアとの共同研究支援を通じて優秀な人材の確保と育成を行い、学術・教育交流の推進や本学の情報発信等を行うことを目的としています。

### ■名古屋工業大学ヨーロッパ事務所

所長 柿本 健一

ヨーロッパ事務所は、欧州における重要な活動拠点として、ドイツノエアランゲン・ニュルンベルク大学内に平成25年7月に設置されました。欧州の研究者との共同研究や国際産学連携、セミナー・シンポジウムの開催支援、名古屋工業大学の紹介及び情報発信等広報活動の推進などの事業を行うことを目的としています。

## 主な教育研究補助金採択状況

事業名	プロジェクト名	期 間	内 容
テニユアトラック普及・定着事業 (機関連発型・個人選抜型)	—	平成25年度～ 平成29年度	若手研究者の育成を目的とした「若手研究イノベータ養成センター」において、広く国内外から優秀な若手研究者を集め、任期制特任教員として採用してテニユアへ導入するプログラム。
先進的医療イノベーション人材養成 事業（未来医療研究人材養成拠点形 成事業）	地域と育む未来医療人 「なごやかモデル」	平成25年度～ 平成29年度	名古屋市立大学、名古屋学院大学と連携し、質の高いエイジング・イン・プレイス（AIP）社会の実現に資するために、AIPのため医学・医療の発展とその質の保証を担う総合診療医、コミュニティ・ヘルスケア指導者、ICT 工学の実践的リーダーの育成を推進することを目的としている。
女性研究者研究活動支援事業	—	平成26年度～ 平成28年度	出産、子育て、介護、研究と生活の調和に配慮した研究環境の整備及び研究力の向上のための取組を支援する。本学に在籍する女性研究者を支援する研究支援員を、専門的なスキルを持ちながら現在何等かの理由で第一線を退いている女性卒業生から起用する「OG 人材バンク・ネット」を構築している。

## プロジェクト研究所

プロジェクト研究所は、学際プロジェクトや産学官連携に資する研究を推進するもので、事業に要する経費は、各年度2,000万円以上の外部資金をもって充て、設置期間は3年以上5年以下とすることを設置の条件としています。

研究所の名称	研究代表者（研究所長）
国際音声技術研究所	徳田 恵一
エネルギー触媒開発研究所	小澤 智宏
次世代自動車駆動用先進モーター開発プロジェクト研究所	小坂 卓
名工大スマートマテリアル創成研究所	日原 岳彦
粉体科学研究所	藤 正督
窒化ガリウムパワーデバイス研究所	江川 孝志
未来医療介護健康情報学研究所	加藤 昇平
ピアメカニクスモーションシステム研究所	岩崎 誠
先端研究基盤共用促進研究所	江龍 修
生体・電磁環境研究所	王 建青
次世代耐震工学研究所	小畑 誠
コレクティブインテリジェンス研究所	伊藤 孝行
バイオセラミックス研究所	春日 敏宏
藤本技術総研融合システム研究所	青木 純
日本ガイシ マテリアルイノベーション研究所	森 秀樹

※設置順

## 役員・教職員数

### 役員数

学 長			理 事			監 事			合 計		
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1		1	3		3	1	1	2	5	1	6

### 教員数（本務者）

年齢区分	教 授			准 教 授			助 教			合 計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
～24歳										0	0	0
25～34歳				5	1	6	24	3	27	29	4	33
35～44歳	8		8	50	5	55	26	2	28	84	7	91
45～54歳	53	3	56	62	3	65	7		7	122	6	128
55～64歳	68	4	72	16		16	1		1	85	4	89
65歳										0	0	0
計	129	7	136	133	9	142	58	5	63	320	21	341

### 職員数（本務者）

事務職員			技術系職員			医療職員			合 計		
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
75	44	119	39	14	53	0	1	1	114	59	173

※職員数（本務者）とは、特定有期雇用職員・再雇用職員・参事を除く、常勤職員です。

■工学部（第一部）

学科名	入学定員	収容定員	現員															
			1年次			2年次			3年次			4年次			合計			
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
生命・応用化学科	210	210	148 (1)	68 (2)	216 (3)											148 (1)	68 (2)	216 (3)
物理工学科	105	105	105	5	110 (0)											105 (0)	5 (0)	110 (0)
電気・機械工学科	200	200	186 (8)	28 (2)	214 (10)											186 (8)	28 (2)	214 (10)
情報工学科	145	145	142 (3)	5	147 (3)											142 (3)	5 (0)	147 (3)
社会工学科	150	150	120 (2)	35 (1)	155 (3)											120 (2)	35 (1)	155 (3)
創造工学教育課程	100	100	81	23	104 (0)											81 (0)	23 (0)	104 (0)
生命・物質工学科		465				117 (1)	50 (1)	167 (2)	113 (5)	56 (0)	169 (5)	133 (0)	51 (2)	184 (2)	363 (6)	157 (3)	520 (9)	
環境材料工学科		285				87 (0)	13 (0)	100 (0)	93 (1)	9 (1)	102 (2)	92 (3)	16 (3)	108 (6)	272 (4)	38 (4)	310 (8)	
機械工学科		555				174 (4)	22 (1)	196 (5)	170 (8)	24 (1)	194 (9)	227 (13)	23 (2)	250 (15)	571 (25)	69 (4)	640 (29)	
電気電子工学科		420				135 (3)	10 (1)	145 (4)	142 (4)	9 (2)	151 (6)	175 (6)	4 (0)	179 (6)	452 (13)	23 (3)	475 (16)	
情報工学科		495				150 (2)	18 (3)	168 (5)	157 (1)	8 (0)	165 (1)	190 (4)	15 (0)	205 (4)	497 (7)	41 (3)	538 (10)	
建築・デザイン工学科		240				51 (0)	26 (3)	77 (3)	58 (3)	28 (1)	86 (4)	59 (0)	33 (0)	92 (0)	168 (3)	87 (4)	255 (7)	
都市社会工学科		270				79 (1)	13 (0)	92 (1)	79 (1)	11 (0)	90 (1)	100 (1)	16 (0)	116 (1)	258 (3)	40 (0)	298 (3)	
工学創成プログラム						1 (0)	2 (0)	3 (0)	1 (0)	3 (0)	4 (0)	2 (0)	1 (0)	3 (0)	4 (0)	6 (0)	10 (0)	
計	910 (10)	3,640 (20)	782 (14)	164 (5)	946 (19)	794 (11)	154 (9)	948 (20)	813 (23)	148 (5)	961 (28)	978 (27)	159 (7)	1,137 (34)	3,367 (75)	625 (26)	3,992 (101)	

注1：（ ）は、外国人留学生を内数で示す。（ ）は、3年次編入学定員を示す。

注2：平成28年4月学科改組

■工学部（第二部）

学科名	入学定員	収容定員	現員																	
			1年次			2年次			3年次			4年次			5年次			合計		
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
物質工学科	5	25	5		5	5	1	6	4	1	5	4	1	5	6	1	7	24	4	28
機械工学科	5	25	4	1	5	5		5	5		5	4	1	5	9	1	10	27	3	30
電気情報工学科	5	25	7		7	7		7	5	1	6	5	1	6	10		10	34	2	36
社会開発工学科	5	25	3	3	6	5	2	7	4	1	5	5		5	12		12	29	6	35
計	20	100	19	4	23	22	3	25	18	3	21	18	3	21	37	2	39	114	15	129

# 学生数

## ■大学院工学研究科 博士前期課程

専攻名	入学定員	収容定員	現員								
			1年次			2年次			合計		
			男	女	計	男	女	計	男	女	計
生命・応用化学専攻	165	165	134 (2)	42	176 (2)				134 (2)	42 (0)	176 (2)
物理工学専攻	78	78	79 (2)	8 (1)	87 (3)				79 (2)	8 (1)	87 (3)
電気・機械工学専攻	138	138	191 (10)	10	201 (10)				191 (10)	10 (0)	201 (10)
情報工学専攻	110	110	118 (7)	14 (1)	132 (8)				118 (7)	14 (1)	132 (8)
社会工学専攻	95	95	96 (7)	21 (3)	117 (10)				96 (7)	21 (3)	117 (10)
物質工学専攻		100				94 (3)	23 (3)	117 (6)	94 (3)	23 (3)	117 (6)
機能工学専攻		100				119 (9)	4 (1)	123 (10)	119 (9)	4 (1)	123 (10)
情報工学専攻		120				127 (3)	11 (3)	138 (6)	127 (3)	11 (3)	138 (6)
社会工学専攻		75				65 (4)	17 (7)	82 (11)	65 (4)	17 (7)	82 (11)
産業戦略工学専攻		17				21 (1)	1 (1)	22 (2)	21 (1)	1 (1)	22 (2)
未来材料創成工学専攻		78				75 (4)	13 (3)	88 (7)	75 (4)	13 (3)	88 (7)
創成シミュレーション工学専攻		80				87 (8)	11 (4)	98 (12)	87 (8)	11 (4)	98 (12)
計	586 (10)	1,156 (10)	618 (28)	95 (5)	713 (33)	588 (32)	80 (22)	668 (54)	1,206 (60)	175 (27)	1,381 (87)

注1：( ) は、大学院規則第8条第3項に定める標準修業年限を1年以上2年未満とする定員を内数で示す。

注2：( ) は、外国人留学生を内数で示す。

注3：平成28年4月専攻改組

## ■大学院工学研究科 博士後期課程

専攻名	入学定員	収容定員	現員											
			1年次			2年次			3年次			合計		
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
生命・応用化学専攻	9	9	3 (1)	1	4 (1)							3 (1)	1 (0)	4 (1)
物理工学専攻	5	5	3 (2)	1 (1)	4 (3)							3 (2)	1 (1)	4 (3)
電気・機械工学専攻	9	9	10 (2)		10 (2)							10 (2)	0 (0)	10 (2)
情報工学専攻	9	9	6 (2)		6 (2)							6 (2)	0 (0)	6 (2)
社会工学専攻	7	7	11 (1)	6 (1)	17 (2)							11 (1)	6 (1)	17 (2)
共同ナノメディン科学専攻	3	9	1 (1)		1 (1)	3 (3)	1 (1)	4 (4)	6 (2)	(0)	6 (2)	10 (6)	1 (1)	11 (7)
物質工学専攻		10				3 (0)	(0)	3 (0)	3 (1)	1 (1)	4 (2)	6 (1)	1 (1)	7 (2)
機能工学専攻		10				8 (1)	(0)	8 (1)	9 (3)	(0)	9 (3)	17 (4)	0 (0)	17 (4)
情報工学専攻		10				8 (1)	3 (2)	11 (3)	17 (5)	(0)	17 (5)	25 (6)	3 (2)	28 (8)
社会工学専攻		8				5 (2)	3 (1)	8 (3)	21 (1)	5 (1)	26 (2)	26 (3)	8 (2)	34 (5)
未来材料創成工学専攻		24				2 (1)	3 (1)	5 (2)	11 (5)	2 (1)	13 (6)	13 (6)	5 (2)	18 (8)
創成シミュレーション工学専攻		16				4 (1)	(0)	4 (1)	15 (4)	3 (3)	18 (7)	19 (5)	3 (3)	22 (8)
計	42	126	34 (9)	8 (2)	42 (11)	33 (9)	10 (5)	43 (14)	82 (21)	11 (6)	93 (27)	149 (39)	29 (13)	178 (52)

注1：( ) は、外国人留学生を内数で示す。

注2：平成28年4月専攻改組

# 平成28年度入学状況

## 工学部第一部

学科名	入試別	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
生命・応用化学科	推薦	20	39 (13)	39 (13)	22 (6)	22 (6)
	前期	120	323 (114)	302 (109)	128 (43)	123 (42)
	後期	70	526 (159)	281 (85)	88 (24)	68 (18)
	私費	若干名	28 (17)	26 (15)	6 (5)	0 (0)
	国費・政費	若干名	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)
	日韓	若干名	2 (0)	2 (0)	2 (0)	1 (0)
物理工学科	推薦	15	23 (1)	23 (1)	15 (1)	15 (1)
	前期	55	253 (14)	242 (14)	62 (2)	62 (2)
	後期	35	251 (15)	141 (10)	41 (3)	33 (2)
	私費	若干名	3 (1)	2 (1)	1 (1)	0 (0)
	国費・政費	若干名	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	日韓	若干名	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
電気・機械工学科	推薦	20	56 (56)	56 (56)	21 (21)	21 (21)
	前期	110	397 (25)	383 (23)	116 (5)	113 (5)
	後期	70	705 (44)	376 (25)	90 (1)	70 (0)
	私費	若干名	39 (4)	36 (4)	5 (0)	4 (0)
	国費・政費	若干名	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)
	日韓	若干名	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)
情報工学科	推薦	15	37 (3)	37 (3)	15 (1)	15 (1)
	前期	85	311 (15)	299 (13)	88 (3)	87 (3)
	後期	45	399 (30)	229 (23)	55 (1)	42 (1)
	私費	若干名	21 (4)	21 (4)	6 (2)	3 (0)
	国費・政費	若干名	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	日韓	若干名	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
社会工学科 (建築・デザイン分野)	AO	3	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)
	前期	42	159 (54)	156 (53)	46 (15)	46 (15)
	後期	25	236 (74)	122 (40)	28 (6)	24 (6)
	私費	若干名	16 (7)	14 (6)	3 (1)	1 (1)
	国費・政費	若干名	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	日韓	若干名	2 (0)	2 (0)	2 (0)	2 (0)
社会工学科 (環境都市分野)	推薦	3	2 (0)	2 (0)	2 (0)	2 (0)
	前期	25	67 (11)	66 (11)	27 (3)	26 (3)
	後期	17	104 (18)	59 (7)	22 (1)	18 (1)
	私費	若干名	7 (1)	6 (1)	2 (1)	0 (0)
	国費・政費	若干名	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	日韓	若干名	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
社会工学科 (経営システム分野)	推薦	3	5 (0)	5 (0)	3 (0)	3 (0)
	前期	18	51 (13)	50 (13)	21 (7)	20 (7)
	後期	14	71 (9)	41 (8)	17 (2)	13 (2)
	私費	若干名	4 (2)	4 (2)	2 (1)	0 (0)
	国費・政費	若干名	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	日韓	若干名	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
創造工学教育課程 (材料・エネルギーコース)	推薦	24	17 (6)	17 (6)	16 (6)	16 (6)
	前期	18	64 (11)	63 (11)	28 (5)	28 (5)
	後期	18	69 (13)	45 (9)	18 (3)	18 (3)
創造工学教育課程 (情報・社会コース)	推薦	16	8 (3)	8 (3)	6 (2)	6 (2)
	前期	12	63 (16)	63 (16)	23 (3)	22 (3)
	後期	12	46 (13)	30 (11)	9 (4)	9 (4)
計	推薦	116	187 (82)	187 (82)	100 (37)	100 (37)
	AO	3	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)
	前期	485	1,688 (273)	1,624 (263)	539 (86)	527 (85)
	後期	306	2,407 (375)	1,324 (218)	368 (45)	295 (37)
	私費	若干名	118 (36)	109 (33)	25 (11)	8 (1)
	国費・政費	若干名	5 (3)	5 (3)	5 (3)	5 (3)
	日韓	若干名	7 (1)	7 (1)	7 (1)	6 (1)
		910	4,413 (770)	3,257 (600)	1,044 (183)	941 (164)

注1：私費は私費外国人留学生、国費は国費外国人留学生、政費はマレーシア政府派遣留学生、日韓は日韓共同理工学部留学生を示す。

注2：電気・機械工学科の「推薦」は女子のみ。

注3：( ) は、女子を内数で示す。

### 別表：欠員補充第2次募集

学科名	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	
創造工学教育課程 (情報・社会コース)	一般入試	3	197 (36)	197 (36)	5 (0)	5 (0)

# 平成28年度入学状況

## 工学部第二部

学科名	入学定員	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
物質工学科	5	前期 5	24 (6)	22 (5)	6 (0)	5 (0)
機械工学科	5	前期 5	21 (1)	19 (1)	6 (1)	5 (1)
電気情報工学科	5	前期 5	31 (3)	30 (3)	7 (0)	7 (0)
社会開発工学科	5	前期 5	36 (6)	36 (6)	6 (3)	6 (3)
計	20	前期 20	112 (16)	107 (15)	25 (4)	23 (4)

注：( ) は、女子を内数で示す。

## 工学部第一部編入学・転入学

学科名	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
生命・物質工学科	若干名	13 (6)	12 (6)	6 (3)	3 (2)
環境材料工学科	若干名	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)
機械工学科	若干名	33 (2)	32 (2)	11 (1)	7 (1)
電気電子工学科	若干名	51 (1)	49 (1)	12 (0)	7 (0)
情報工学科	若干名	19 (0)	19 (0)	5 (0)	2 (0)
建築・デザイン工学科	若干名	4 (0)	3 (0)	2 (0)	2 (0)
都市社会工学科	若干名	4 (1)	4 (1)	1 (0)	1 (0)
計		125 (10)	120 (10)	38 (4)	23 (3)

注1：第一部募集人員の若干名には、3年次編入学定員10名を含みます。

注2：( ) は、女子を内数で示す。

## 大学院工学研究科博士前期課程

専攻名	入試別	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
生命・応用化学専攻	推薦	58	59 (17)	58 (17)	56 (17)	56 (17)
	一般	107	147 (27)	142 (25)	123 (25)	119 (25)
	私費	若干名	2 (0)	2 (0)	1 (0)	1 (0)
	国費・政費・ABE・ものづくり・企業	若干名	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
物理工学専攻	推薦	27	26 (5)	26 (5)	26 (5)	26 (5)
	一般	51	71 (4)	70 (3)	61 (2)	58 (2)
	私費	若干名	3 (0)	3 (0)	2 (0)	2 (0)
	国費・政費・ABE・ものづくり・企業	若干名	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)
電気・機械工学専攻	推薦	54	56 (5)	56 (5)	55 (5)	55 (5)
	一般	84	176 (7)	172 (7)	142 (6)	137 (5)
	私費	若干名	8 (1)	7 (0)	6 (0)	6 (0)
	国費・政費・ABE・ものづくり・企業	若干名	3 (0)	3 (0)	3 (0)	3 (0)
情報工学専攻	推薦	39	35 (6)	35 (6)	34 (6)	33 (6)
	一般	71	128 (8)	124 (8)	101 (7)	94 (7)
	私費	若干名	8 (0)	7 (0)	2 (0)	2 (0)
	国費・政費・ABE・ものづくり・企業	若干名	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)
社会工学専攻	推薦	38	49 (10)	48 (9)	48 (9)	47 (9)
	一般	57	75 (12)	70 (11)	66 (10)	53 (7)
	私費	若干名	5 (3)	5 (3)	3 (3)	2 (2)
	国費・政費・ABE・ものづくり・企業	若干名	5 (0)	5 (0)	5 (0)	5 (0)
	2月選抜	若干名	11 (3)	11 (3)	11 (3)	10 (3)
計	推薦	216	225 (43)	223 (42)	219 (42)	217 (42)
	一般	370	597 (58)	578 (54)	493 (50)	461 (46)
	私費	若干名	26 (4)	24 (3)	14 (3)	13 (2)
	国費・政費・ABE・ものづくり・企業	若干名	12 (2)	12 (2)	12 (2)	12 (2)
	2月選抜	若干名	11 (3)	11 (3)	11 (3)	10 (3)

注1：私費は、私費外国人留学生、国費は、国費外国人研究留学生、政費は、外国政府派遣大学院留学生、ABEはABEイニシアティブ留学生、ものづくりは、ものづくり愛知留学生、企業は、企業奨学生を示します。

注2：( ) は、女子を内数で示す。

## ■大学院工学研究科博士後期課程

専攻名	入試別	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
生命・応用化学専攻	一般（1次）	9	4（1）	4（1）	4（1）	3（1）
	一般（2次）	若干名	1（0）	1（0）	1（0）	1（0）
	国費・政費	若干名	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）
物理工学専攻	一般（1次）	5	1（0）	1（0）	1（0）	1（0）
	一般（2次）	若干名	2（1）	2（1）	2（1）	2（1）
	国費・政費	若干名	1（0）	1（0）	1（0）	1（0）
電気・機械工学専攻	一般（1次）	9	5（0）	5（0）	5（0）	5（0）
	一般（2次）	若干名	5（0）	5（0）	5（0）	5（0）
	国費・政費	若干名	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）
情報工学専攻	一般（1次）	9	3（0）	3（0）	3（0）	3（0）
	一般（2次）	若干名	2（0）	2（0）	2（0）	2（0）
	国費・政費	若干名	1（0）	1（0）	1（0）	1（0）
社会工学専攻	一般（1次）	7	2（0）	2（0）	2（0）	2（0）
	一般（2次）	若干名	17（6）	17（6）	14（6）	14（6）
	国費・政費	若干名	1（0）	1（0）	1（0）	1（0）
共同ナノメディシン科学専攻	一般（1次）	3	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）
	一般（2次）	若干名	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）
	10月入学	若干名				
	国費・政費	若干名	1（0）	1（0）	1（0）	1（0）
計	一般（1次）	42	15（1）	15（1）	15（1）	14（1）
	一般（2次）	若干名	27（7）	27（7）	24（7）	24（7）
	10月入学	若干名				
	国費・政費	若干名	4（0）	4（0）	4（0）	4（0）

注1：国費は、国費外国人研究留学生、政費は、外国政府派遣大学院留学生を示します。

注2：（ ）は、女子を内数で示す。

## ■奨学生数

平成28年3月1日現在

区分	独立行政法人 日本学生支援機構			地方公共団体	財団法人等	奨学生合計	学生数に対する比率	
	第一種	第二種	私費外国人留学生学習奨励費					
工学部	第一部	457	426	10	6	53	952	23.6%
	第二部	16	8	0	0	1	25	19.7%
工学研究科	博士前期	344	49	6	0	43	442	33.7%
	博士後期	21	1	1	0	19	42	22.3%

※重複受給を含むため、延べ人数

# 平成28年度入学状況

平成28年度入学状況、卒業生・修了者数

## 平成28年度入学者出身学校所在都道府県

地区	第一部			第二部							
	人数	比率	明細	人数	比率	明細					
北海道	3	0.3	—	0	0.0	—					
東北	3	0.3	—	0	0.0	—					
関東甲信越	13	1.4	茨城	1	0	0.0	茨城	0			
			栃木	1			栃木	0			
			群馬	0			群馬	0			
			埼玉	0			埼玉	0			
			千葉	1			千葉	0			
			東京	2			東京	0			
			神奈川	3			神奈川	0			
			新潟	0			新潟	0			
			山梨	1			山梨	0			
			長野	4			長野	0			
東海北陸	811	85.7	富山	5	19	82.6	富山	0			
			石川	5			石川	0			
			福井	7			福井	0			
			岐阜	119			岐阜	5			
			静岡	37			静岡	0			
			愛知	569			愛知	13			
			三重	69			三重	1			
			滋賀	15			滋賀	1			
近畿	75	8.0	京都	3	2	8.7	京都	0			
			大阪	18			大阪	0			
			兵庫	26			兵庫	0			
			奈良	6			奈良	0			
			和歌山	7			和歌山	1			
			鳥取	1			鳥取	0			
中国四国	14	1.5	島根	2	0	0.0	島根	0			
			岡山	2			岡山	0			
			広島	4			広島	0			
			山口	0			山口	0			
			徳島	1			徳島	0			
			香川	1			香川	0			
			愛媛	3			愛媛	0			
			高知	0			高知	0			
			九州・沖縄	4			0.4	—	2	8.7	—
			その他	23			2.4	—	0	0.0	—
計	946	100.0	—	23	100.0	—					

## 卒業生・修了者数

### 工学部

学科名	平成27年度卒業生	累計
生命・物質工学科	166	1,397
環境材料工学科	95	874
機械工学科	199	1,694
電気電子工学科	159	1,259
情報工学科	177	1,409
建築・デザイン工学科	81	707
都市社会工学科	93	827
工学創成プログラム	4	19
旧学科	—	38,065
計	974	46,251
第一部		
第二部		
物質工学科	6	161
機械工学科	6	133
電気情報工学科	5	157
社会開発工学科	4	118
旧学科	—	6,379
計	21	6,948
工学部計	995	53,199

### 大学院工学研究科

専攻名	平成27年度修了者	累計
物質工学専攻	110	1,587
機能工学専攻	113	1,450
情報工学専攻	138	1,618
社会工学専攻	69	952
産業戦略工学専攻	41	418
未来材料創成工学専攻	76	564
創成シミュレーション工学専攻	85	580
旧専攻	—	5,888
計	632	13,057
博士前期課程		
物質工学専攻	3	94
機能工学専攻	3	56
情報工学専攻	8	96
社会工学専攻	9	91
未来材料創成工学専攻	15	87
創成シミュレーション工学専攻	7	36
共同ナノメディン科学専攻	2	2
旧専攻	—	594
計	47	1,056
博士後期課程		
修士課程計	-	2,452
大学院工学研究科計	679	16,565

# 平成27年度卒業生・修了者の進学状況

## 進学状況

### (1) 進学率

出身区分		卒業・修了者	進学者	進学率
工学部	第一部	974名	669名	68.7%
	第二部	21名	5名	23.8%
大学院工学研究科（博士前期課程）		632名	19名	3.0%

### (2) 進学先

進学先	学部		大学院		合計
	第一部	第二部	博士前期	博士後期	
名古屋工業大学	636	4	18		658
名古屋大学	15		1		16
東京工業大学	4				4
大阪大学	3				3
京都大学	3				3
東京大学	3				3
奈良先端科学技術大学院大学	2				2
総合研究大学院大学	1	1			2
慶應義塾大学	1				1
東北大学	1				1
計	669	5	19	0	693

※学部の進学先は大学院博士前期（修士）課程、大学院博士前期課程の進学先は大学院博士後期課程とする。

# 平成27年度卒業生・修了者の就職状況

平成27年度卒業生・修了者の就職状況

区 分		第一部								第二部				大学院											
		生命・物質工学科	環境材料工学科	機械工学科	電気電子工学科	情報工学科	建築デザイン工学科	都市社会工学科	工学創成プログラム	合計	物質工学科	機械工学科	電気情報工学科	社会開発工学科	合計	物質工学専攻	機能工学専攻	情報工学専攻	社会工学専攻	産業戦略工学専攻	未来材料創成工学専攻	創成メカトロニクス工学専攻	共同メカトロニクス専攻	合計	
卒業生・修了者	進学者数	133	77	126	124	114	44	47	4	669	3	1	1		5	3	2	5	2	4	2	1		19	
	就職者数	正規の職員	26	15	67	33	58	30	44		273	2	3	3	4	12	106	109	131	64	33	74	83		600
		正規の職員等でない者※ (雇用契約が1年以上かつフルタイム) (勤務相当の者)				1			2		3					0	1	2	1	1		4		1	2
	その他	7	3	6	1	5	7				29	1	2	1		4	2	2	2	2	4	4	1		11
	計	166	95	199	159	177	81	93	4	974	6	6	5	4	21	110	113	138	69	41	76	85		632	
																								0	
農業、林業					1		1			2					0									0	
漁業										0					0									0	
鉱業、採石業、砂利採取業										0					0									0	
建設業				1		20	6			27				1	1	1			23	1	3	17		45	
製造業	食料品・飲料・たばこ・飼料		1							1					0									0	
	繊維工業									0					0	1					2			3	
	印刷・同関連業				1					1					0	2		1	1	1	1			6	
	化学工業、石油・石炭製品	4			1	1		1		7		1			1	21	1	1	2		17	1		43	
	鉄鋼業、非鉄金属・金属製品	2	1	3		1		2		9	1				1	12	6	5	2	2	6	1		34	
	はん用・生産用・業務用機械器具	1	1	10	4	4		3		23		1			1	5	21	11	1	3		5		46	
	電子部品・デバイス・電子回路	1	1	2		2				6					0	5	9	9	3		5	2		33	
	電気・情報通信機械器具	1	1	2	2	7		1		14					0	10	13	25	3	3	5	10		69	
	輸送用機械器具	8	6	36	11	6	1	4		72					0	37	49	42	5	8	27	23		191	
	その他	1	1	1	2		1	1		7					0	7	4	2	1	2	3	2	(1)	21	
電気・ガス・熱供給・水道業	1		1	1	3				6			1		1		2	7	2		3	2		16		
情報通信業	1		3	4	23	1	7		39			1	1	2	3	1	24	6	2	1	10		47		
運輸業、郵便業	1		2						3					0		1	1	1	1	1			5		
卸売業	1		2	2			2		7					0		1	1						2		
小売業									0					0			1						1		
金融業	1			1			1		3					0					2				2		
保険業									0					0									0		
不動産業、物品賃貸業	不動産取引・賃貸・管理業								0					0				1			(1)		1		
	物品賃貸業								0					0									0		
学術研究、専門・技術サービス業	学術・開発研究機関						1		1					0	1	(1)		1	1	(2)				3	
	法務								0					0										0	
	その他の専門・技術サービス業			2	1	2	1	3		9			1	1	2		1	1	1	1		4		8	
宿泊業、飲食サービス業			1						1					0									0		
生活関連サービス業、娯楽業					1				1					0									0		
教育、学習支援業	学校教育					1	1		2	1				1	(2)	(1)	(1)	(4)	3	(3)	2	(1)	(15)		
	その他の教育、学習支援業	1							1					0									0		
医療、福祉	医療業、保健衛生								0					0									0		
	社会保険・社会福祉・介護事業								0					0									0		
複合サービス事業		1					1		2					0									0		
サービス業	宗教								0					0									0		
	その他のサービス業		1		1	1		2		5					0			2	1			1		4	
公務	国家公務				1	2	1		4					0					1				1		
	地方公務	1	1	1	1	1	3	10		18		1			1			10	1			3		14	
上記以外	1		1		2		1		5					1	2		(1)						2		
計	26	15	67	34	58	30	46	0	276	2	3	3	4	12	107	109	131	65	33	74	83	0	602		

備考 1. ( ) は大学院博士後期課程を外数で示す。  
 2. ※ 「正規の職員等でない者（雇用契約が1年以上かつフルタイム勤務相当の者）」とは雇用の期間が1年以上で期間の定めがあるものであり、かつ1週間の所定の労働時間がおおむね40～30時間程度の者

## ■就職状況

### (1) 就職率

平成28年5月24日現在

出身区分	求職者	求人倍率	就職者	就職率
工学部	第一部	26.4倍	276名	98.6%
	第二部		12名	92.3%
大学院工学研究科	博士前期課程	9.8倍	607名	99.5%
	博士後期課程	—	39名	95.1%

注：現職者 第二部 2名 博士前期課程 12名 博士後期課程 14名

### (2) 主な就職先

産業界（2名以上）

就職先	学 部										大 学 院										総 計					
	第一部					第二部					前期課程					後期課程										
	生命・物質工学科	環境材料工学科	機械工学科	電気電子工学科	情報工学科	建築・デザイン工学科	都市社会工学科	物質工学科	機械工学科	電気情報工学科	社会開発工学科	物質工学専攻	機能工学専攻	情報工学専攻	社会工学専攻	産業戦略工学専攻	未来材料創成工学専攻	創成マイクロシミュレーション工学専攻	物質工学専攻	機能工学専攻		情報工学専攻	社会工学専攻	未来材料創成工学専攻	創成マイクロシミュレーション工学専攻	共同ナノメテアロノ科学専攻
トヨタ自動車	1		3			1						3	6	5	2	1	5	1								28
アイシン精機			4	1								2	5	3	1	3	1	4								24
アイシン・エイ・ダブリュ			4		3		1					3	3	3			2	3								22
デンソー												4	5	4		1	3	3						1		21
ブラザー工業												4	4	7			1	3								19
中部電力			1	1	1									5	2		2	1								13
三菱電機												1	2	5			5									13
豊田自動織機												2	3	4	1		2									12
マキタ			1	2									5	2		1										11
川崎重工業			1										5	3												9
東海理化電機製作所				1										4			2	1								8
日本特殊陶業			1									3					3						1			8
ヤマザキマザック			4		1								2				1									8
ヤマハ発動機			2									1	1	1			1	2								8
新日鐵住金												2	2		1		2									7
住友電装	1	1	1		1		1					1					1									7
三菱自動車工業												1	1	3			1	1								7
リンナイ		1					1	1				2					1	1								7
大林組						3												3								6
スズキ												1	3	1			1									6
大成建設						2	1								3											6
ニッセイ	1		1	2	1								1													6
日本システム開発					3					1				1				1								6
日立製作所							1							2		1	1				1					6
愛知製鋼							1					1		2			1									5
アドヴィックス												1	2				2									5
ジェイテクト			2				1					1		1												5
東芝												1		1						1	1			1		5
パナソニック													1	1	1		1	1								5
富士機械製造			1		2								1			1										5
富士重工業			2										1	2												5
三菱電機メカトロニクスソフトウェア					2									2			1									5
アイカ工業						1						3														4
NTN												2		1			1									4
エヌ・ティ・ティ・データ					1		1							2												4
オークマ														2		1	1									4
JSR												1					3									4
清水建設						2												1								4
大同メタル工業	1			1										1	1											4
竹中工務店						1									3											4
中電シーティーアイ				1										2	1											4
デンソーテクノ													1	3												4
豊田合成	1											1		1			1									4
トヨタコミュニケーションシステム														3	1											4
トヨタ車体			3											1												4
トヨタ紡織			1									1	2													4
中日本高速道路															1		1	2								4
日本ガイシ													3					1								4
パップファロー					2								1													4
パナソニック エコシステムズ														1	1	1	1									4
浜松ホトニクス												1	1	1			1									4
パロマ												1	1													4
本田技研工業			1	1									2													4
村田製作所				1									1	1			1									4
アスモ			1		1							1														3
ISOWA					2													1								3
鹿島建設						2									1											3

# 平成27年度卒業生・修了者の就職状況

平成27年度卒業生・修了者の就職状況

就職先	学 部										大 学 院										総 計						
	第一部					第二部					前期課程					後期課程											
	生命・物質工学科	環境材料工学科	機械工学科	電気電子工学科	情報工学科	建築デザイン工学科	都市社会工学科	物質工学科	機械工学科	電気情報工学科	社会開発工学科	物質工学専攻	機能工学専攻	情報工学専攻	社会工学専攻	産業戦略工学専攻	未来材料創成工学専攻	創成シミュレーション工学専攻	物質工学専攻	機能工学専攻		情報工学専攻	社会工学専攻	未来材料創成工学専攻	創成シミュレーション工学専攻	共同ナノメテック科学専攻	
関西電力					1							1	1													3	
建設技術研究所							1								1								1				3
小糸製作所												1	1				1										3
CKD	1			1								1															3
ジェアール東海情報システム													2					1									3
住友理工					1		1					1															3
ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ					2								1														3
大豊工業			1									1	1														3
デンソーウェーブ					1							1	1														3
東海旅客鉄道				2													1										3
東邦ガス												1	1				1										3
日東電工									1				1				1										3
日本電産					2							1															3
ノリタケカンパニーリミテド												1					1						1				3
富士通システムズ・ウエスト															3												3
フタバ産業		1														2											3
平成建設						1									1		1										3
メイテック					3																						3
ローランドディー・シー	1												2														3
IHI													2														2
愛三工業																											2
愛知機械工業			1									1															2
アイホン													1								1						2
イノライト工業												1											1				2
EIZO														2													2
エクシード				1	1																						2
NECソリューションイノベータ					1								1														2
オービック							1					1															2
兼房												1	1														2
北川工業				1								1															2
小島プレス工業				1												1											2
コニカミノルタ													1	1													2
島津製作所														2													2
新東工業												1	1														2
住友化学																							2				2
住友金属鉱山												2															2
ゼネラルパッカー			1										1														2
ダイキン工業												1		1													2
大同特殊鋼												1	1														2
大日本印刷				1												1											2
ダイハツ工業														2													2
ダイフク			1				1																				2
太平洋工業				1													1										2
高砂電気工業			1									1															2
中央コンサルタンツ												1											1				2
中菱エンジニアリング													1											1			2
電源開発					1																						2
デンソーITソリューションズ								2																			2
デンソークワイエット												1		1													2
東洋エンジニアリング												1					1										2
戸田建設							1															1					2
凸版印刷												1		1													2
トヨタテクニカルディベロップメント	1												1									1					2
トヨタデジタルクルーズ					1																						2
豊田鈦工																											2
トヨタホーム						2																					2
中日本建設コンサルタンツ																									2		2
名古屋発條工業																2											2
西日本旅客鉄道															1	1											2
日産車体		1	1																								2
NIPPO							2																				2
日本車輛製造												1	1														2
ニデック													1											1			2
パイロットインキ												1	1														2
パナホーム						2																					2
富士ゼロックス															1									1			2
MARUWA												1	1														2
三重富士通セミコンダクター													1											1			2
三井化学																	2										2
三菱ガス化学												1					1										2
三菱重工業																									1		2
三菱電機インフォメーションネットワーク																									1		2
三菱電機エンジニアリング					1																			1			2
村田機械			1																								2
矢崎総業												1		1													2

教育・研究機関（全て）

就職先	学 部										大 学 院										合 計					
	第一部					第二部					前期課程					後期課程										
	生命・物質工学科	環境材料工学科	機械工学科	電気電子工学科	情報工学科	建築・デザイン工学科	都市社会工学科	物質工学科	機械工学科	電気情報工学科	社会開発工学科	物質工学専攻	機能工学専攻	情報工学専攻	社会工学専攻	産業戦略工学専攻	未来材料創成工学専攻	創成シミュレーション工学専攻	物質工学専攻	機能工学専攻		情報工学専攻	社会工学専攻	未来材料創成工学専攻	創成シミュレーション工学専攻	共同ナノメテック科学専攻
名古屋工業大学											1			1	1			1	1	1		1		1	8	
カブール大学																	2								2	
De La Salle Catholic University																					1				1	
Department of Industrial and Production Engineering Bangladesh University of Engineering and Technology																						1			1	
University of Computer Studies, Yangon																							1		1	
愛知総合工科高校															1										1	
大阪大学																							1		1	
お茶の水女子大学																							1		1	
河海大学																					1				1	
京都大学																			1						1	
蘇南高等学校					1																				1	
ダナン工科大学																							1		1	
中部大学第一高等学校								1																	1	
筑波大学																						1			1	
長野県飯田 OIDE 長姫高等学校						1																			1	
名古屋学芸大学																							1		1	
名古屋学芸大学短期大学部															1										1	
日本学術振興会																				1					1	
物質・材料研究機構																							1		1	
マレーシア工科大学																							1		1	
計	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	3	0	2	2	2	1	4	5	3	1	28

官公庁（全て）

就職先	学 部										大 学 院										合 計				
	第一部					第二部					前期課程					後期課程									
	生命・物質工学科	環境材料工学科	機械工学科	電気電子工学科	情報工学科	建築・デザイン工学科	都市社会工学科	物質工学科	機械工学科	電気情報工学科	社会開発工学科	物質工学専攻	機能工学専攻	情報工学専攻	社会工学専攻	産業戦略工学専攻	未来材料創成工学専攻	創成シミュレーション工学専攻	物質工学専攻	機能工学専攻		情報工学専攻	社会工学専攻	未来材料創成工学専攻	創成シミュレーション工学専攻
愛知県		1				2								4	1		1								9
名古屋市			1	1		2		1					2												7
豊田市						2												1							3
一宮市						1												1							2
岐阜県	1					1								2											2
滋賀県																									2
豊橋市							2																		2
防衛省地方防衛局					1	1																			2
蒲郡市							1																		1
幸田町					1																				1
神戸市							1																		1
国土交通省				1																					1
静岡県														1											1
総務省															1										1
総務省東海総合通信局					1																				1
東海市														1											1
東京都																									1
山梨県							1																		1
計	1	1	1	2	3	4	10	0	1	0	0	0	0	1	10	2	0	3	0	0	0	0	0	0	39

非営利法人（全て）

就職先	学 部										大 学 院										合 計				
	第一部					第二部					前期課程					後期課程									
	生命・物質工学科	環境材料工学科	機械工学科	電気電子工学科	情報工学科	建築・デザイン工学科	都市社会工学科	物質工学科	機械工学科	電気情報工学科	社会開発工学科	物質工学専攻	機能工学専攻	情報工学専攻	社会工学専攻	産業戦略工学専攻	未来材料創成工学専攻	創成シミュレーション工学専攻	物質工学専攻	機能工学専攻		情報工学専攻	社会工学専攻	未来材料創成工学専攻	創成シミュレーション工学専攻
愛知県経済農業協同組合連合会							1																		1
(公)あいち産業振興機構																						1			1
計	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2

# 外国人留学生数

外国人留学生数

外国人留学生数一覧（国・地域別）

区 分 国・地域	国費等外国人留学生					私費外国人留学生											合計														
	学 部 生	学 部 研 究 生	大学院		日 本 語 研 修 計	外国政府派遣等留学生				その他				短期留学生			学 部 生	※学 部 研 究 生 等	大学院		日 本 語 研 修	科 目 等 履 修 計									
			前 期	後 期		研 究 生	学 部 研 究 生	学 部 研 究 生	大 学 院	科 目 等 履 修 生	学 部 研 究 生	大 学 院	計	前 期	後 期	※研 究 生 等															
																			前	後			前	後	前	後					
アフガニスタン			3	4 (1)		7 (1)								1								1		3	5 (1)						8 (1)
バングラデシュ			1	2		3								1									1		2	2					4
ブラジル		2		1		3										1							1	2		1	1				4
中国				4 (1)		4 (1)				1		1	29 (12)	35 (9)	46 (16)	21 (6)	1 (1)		1	3 (1)	136 (45)	29 (12)	36 (9)	46 (16)	26 (7)	4 (2)					141 (46)
台湾																			1	1		1									1
エジプト																1	1 (1)			3 (1)	5 (1)			1	1 (1)	3					5 (1)
エチオピア																1							1								1
フィンランド																				3 (1)	3 (1)					3 (1)					3 (1)
フランス																			2				1	3		2	1				3
ギニア			1			1																				1					1
インド			6 (2)	3 (1)		9 (3)									9 (4)	2				11 (4)			15 (6)	5 (1)						20 (7)	
インドネシア		1		1 (1)		2 (1)										1	1			2	1			2 (1)	1					4 (1)	
韓国	15 (4)					15 (4)	9				9	7			4 (2)	2				13 (2)	31 (4)			4 (2)	2					37 (6)	
マダガスカル			1			1																			1						1
マレーシア			2 (1)			2 (1)	16 (5)			2			18 (5)	2						2	18 (5)			2 (1)	2					22 (6)	
マリ																1								1							1
メキシコ					1	1																						1			1
モンゴル				1 (1)		1 (1)							1 (1)								1 (1)	1 (1)			1 (1)					2 (2)	
ネパール																										1					1
スペイン			1 (1)			1 (1)																				1 (1)					1 (1)
タイ			1			1																				1					1
ウガンダ		1				1																			1						1
ベトナム			2			2							18 (4)		6 (1)	1		1			26 (5)	18 (4)			8 (1)	1			1	28 (5)	
計 (下段は女子の数)	19 (4)	0 (0)	18 (4)	16 (5)	0 (0)	54 (13)	25 (5)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	0 (0)	28 (5)	57 (17)	35 (9)	69 (23)	32 (7)	3 (1)	1 (0)	2 (0)	10 (2)	209 (59)	101 (26)	37 (9)	87 (27)	51 (12)	13 (3)	1 (0)	1 (0)	291 (77)		

注1：( ) 内は女子を内数で示す。

注2：国費等外国人留学生には日韓共同理工系学部留学生15名、外国政府派遣等留学生には日韓共同理工系学部留学生9名を含む。

注3：「研究生等」には、「短期留学生」（主として大学間交流協定に基づいて母国の大学に在籍し、必ずしも学位取得を目的としない、概ね1学年以内の1学期間又は複数学期教育を受ける留学生）を含む

# 学術交流協定締結状況

大学間学術交流協定数	54
部局間学術交流協定数	18
合計国・地域数	28

学生交流について：●授業料等不徴収の条項あり  
○授業料等不徴収の条項なし

国・地域	大学名／機関名（本学締結部局）	学生交流	締結年	
アフガニスタン	カブール大学	○	2005	
	バングラデシュ	○	1999	
中国	陝西科技大学	○	1990	
	清華大学	●	1994	
	西安交通大学	●	1996	
	浙江大学	○	1997	
	北京理工大学	○	1997	
	北京化工大学	●	2005	
	北京化工大学炭素繊維と複合材料研究所（先進セラミックス研究センター）		2007	
	同濟大学	●	2006	
	中国科学院半導体研究所		2007	
	復旦大学	○	2007	
	中山大学	○	2008	
	四川省社会科学院	○	2008	
	厦門大学材料学院（未来材料創成工学専攻）	○	2009	
	大連東軟信息学院	●	2010	
	長春大学図書館（附属図書館）		1995	
	吉林大学図書館（附属図書館）		1995	
	インド	アナ大学	●	1996
インド工科大学ボンベイ校		●	2002	
中央ガラス・セラミックス研究所			2005	
デリー大学		●	2007	
インド国立科学研究所		●	2009	
鉱物および材料工学研究所科学および工業研究カウンシル（先進セラミックス研究センター）			2013	
インドネシア	ソナ工業大学フォトニクス・ナノテクノロジーセンター（未来材料創成工学専攻）	○	2014	
	ウタヤナ大学	●	2003	
韓国	漢陽大学校	●	2003	
	ソウル国立大学電気情報工学専攻（情報工学専攻）		2005	
	ソウル国立大学経営工学専攻（社会工学専攻）		2015	
	明知大学校	●	2010	
マレーシア	マラ工科大学	●	2005	
	マレーシア工科大学	●	2006	
オマーン	ツン・フセイン・オン・マレーシア大学マイクロエレクトロニクス・ナノテクノロジー-シャムスディン研究センター（機能工学専攻、未来材料創成工学専攻）	○	2012	
	サルタン カブス大学	●	2003	
タイ	タマサート大学	●	2004	
	泰日工業大学	●	2007	
台湾	チュロンコン大学	●	2008	
	国立台北科技大学	●	2005	
トルコ	ドゥムルプナル大学理工学専攻（未来材料創成工学専攻）	○	2013	
	ベトナム科学技術アカデミー物質科学研究所	●	2008	
ベトナム	ハノイ工科大学	●	2008	
	オーストラリア	クイーンズランド大学バイオエンジニアリング・ナノテクノロジー研究所（物質工学専攻）	○	2013
ヨーロッパ	オーストリア	ウィーン工科大学	●	2014
	オランダ	ヨーロピアン・サイバーセキュリティ・ネットワーク（ENCS）（社会工学専攻）		2015
	ブルガリア	ペリコ・タルノボ大学	●	2013
	フィンランド	アールト大学	●	2003
	フランス	リモージュ大学、国立セラミックス工学大学院	●	2003
		リール国立化学大学院	●	2003
		EFREI/ESIGETEL	●	2015
		ESTP	●	2009
		ESIGELEC	●	2010
	ポワティエ大学	●	2010	
	ドイツ	ケムニッツ工科大学電気情報工学部（情報工学専攻）		2006
		エアランゲン・ニュルンベルク大学	●	2011
	イタリア	サレルノ大学社会工学専攻（創成シミュレーション工学専攻）	○	2015
		ミラノ大学	○	2004
	ポーランド	バドバ大学経営工学部（情報工学専攻）	○	2011
		ボズナン工科大学情報経営工学科（情報工学専攻）		2006
	ルーマニア	ヤシ「アレクサンドル・イオンクザ」大学	○	1999
ロシア	メンデレーフ・ロシア化学技術大学	○	1991	
	アルカラ大学	●	2015	
スペイン	バレンシア州立工芸大学	●	2000	
	ルレオ工科大学	●	2013	
スウェーデン	インベリアル・カレッジ・ロンドン	○	1991	
	リーズ大学	○	1991	
	リーズ大学粒子科学工学研究所（先進セラミックス研究センター）		2007	
北米	シェフィールド大学		2005	
	アーカンソー大学フォートスミス校	○	2007	
南米	アメリカ合衆国	○	2008	
	クレムソン大学	○	2010	
	フロリダ大学	○	2010	
ブラジル	パラナ工業大学電気情報工学専攻（グローバル共生情報研究センター）		2014	
	ブラジリア大学	●	1999	

注 本学締結部局名は協定締結時のもの

## 平成27年度科学研究費助成事業

件数	金額（千円）
230	613,630

## 平成27年度知的財産収入

内 訳	金額（千円）
特許権等	12,888
著作権	236
ノウハウ	4,320
有体物	2,509
合計	19,953

## 平成27年度財政状況（暫定）

区 分	決算額
運営費交付金	4,199
自己収入	3,498
学生納付金収入	3,260
雑収入	238
外部資金関係収入	2,432
施設整備費補助金等	603
施設整備費補助金	578
国立大学財務・経営センター施設費交付金	25
前年度からの繰越金	486
計	11,218

区 分	決算額
人件費	5,782
物件費	2,240
教育経費	620
研究経費	742
教育研究支援経費	360
一般管理費	518
外部資金関係事業費	2,396
施設整備費補助金等事業	603
翌年度への繰越金	197
計	11,218

注1：外部資金関係収入については、〈外部資金関係内訳〉を参照。  
注2：前年度からの繰越金については、平成27年度支出分のみを記載。

### 〈外部資金関係内訳〉

（単位：百万円）

区 分	件 数	決算額
寄附金	678	254
受託研究費	93	477
共同研究費	240	684
受託事業費	2	15
共同事業費	1	0
科学技術人材育成費補助金	2	39
地域産学官連携科学技術振興事業費補助金	2	26
研究開発施設共用等促進費補助金	1	39
戦略的国際研究交流推進事業費補助金	2	38
中小企業経営支援等対策費補助金	1	1
ぎふ技術革新センター運営協議会 共同研究助成事業助成金	2	3
研究拠点形成費等補助金	1	36
国立大学改革強化推進補助金	2	664
医療研究開発推進事業費補助金	1	4
間接経費（科学研究費補助金等）	250	152
計	1,278	2,432

（注）寄附金の決算額には、未収収益等を含む。

# 土地・建物

区 分		建物 (単位:m <sup>2</sup> )	土地 (単位:m <sup>2</sup> )	所 在 地
御器所団地	専門学科・共通教育等	105,874	138,664	〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町
	本部棟	3,299		
	附属図書館	5,577		
	教育研究センター機構	187		
	産学官連携センター	1,461		
	留学生センター	284		
	情報基盤センター	1,499		
	大型設備基盤センター	2,031		
	男女共同参画推進センター	144		
	ものづくりテクノセンター	903		
	極微デバイス次世代材料研究センター	508		
	窒化物半導体マルチビジネス創生センター	2,350		
	保健センター	509		
	NITech ホール	1,667		
	体育館	2,479		
	55号館 (課外活動共用施設)	1,729		
	57号館 (課外活動施設)	485		
	大学会館	4,478		
	国際交流会館	2,155		
	NITクラブ	264		
校友会館	589			
NITech マート	303			
その他	2,103			
小 計	140,878	138,664		
千種団地	千種運動場	412	34,439	〒464-0083 名古屋市千種区北千種二丁目512-1
	学生寮 (恒和寮)	2,933	7,336	
	小 計	3,345	41,775	
先進セラミックス研究センター	2,754	20,943	〒507-0071 多治見市旭ヶ丘十丁目6-29	
多治見駅前地区 先進セラミックス研究センター オープンラボ他	*a 1,195 *a (843) *a (352)		〒507-0033 多治見市本町三丁目101-1 (クリスタルプラザ多治見4階)	
蒲郡艇庫	*a 224		〒443-0014 蒲郡市海陽町1-7 (蒲郡市営共同艇庫 B-1)	
庄内川艇庫	376	635	〒454-0944 名古屋市中川区大蠟螂町字西流358-3	
志段味課外活動施設	246	*a 7,683 87	〒463-0002 名古屋市守山区大字中志段味字南原2678	
木曽駒高原セミナーハウス	378	*a 4,628	〒397-0002 長野県木曽郡木曽町新開字水沢129-10	
旧狭間住宅	0	2,981	〒466-0062 名古屋市昭和区狭間町27	
合 計	147,977 *a 1,419	212,681 *a 4,715		

\*a: 借上げ数量を、外数で示す。

( ) は、内訳を示す。

## 学内配置図

学内配置図、クラブ・サークル



## クラブ・サークル

体育系	
1	陸上競技
2	水泳
3	硬式野球
4	準硬式野球
5	硬式庭球部
6	ソフトテニス
7	バスケットボール
8	男子バレーボール
9	女子バレーボール
10	卓球
11	バドミントン
12	サッカー
13	ラグビー
14	アメリカンフットボール
15	アイスホッケー
16	ハンドボール
17	柔道
18	剣道
19	体操
20	馬術
21	空手道

22	弓道
23	合気道
24	ゴルフ
25	ボート
26	ヨット
27	スキー
28	ライフル射撃
29	航空
30	自動車
31	ワンダーフォーゲル
32	ビリヤード

文化系	
1	管弦楽団
2	ギターアンサンブル
3	A.F.Q. (軽音楽)
4	PMC祭ん (ライブ)
5	合唱団
6	E. S. S.
7	美術部
8	写真研究部
9	将棋部

10	囲碁部
11	鉄道研究会
12	ソーラーカー部
13	コンピュータ倶楽部
14	ロボコン工房
15	Seminar
16	Dance Freaks Community (DFC)
17	名古屋工業大学新聞部
18	マジックサークルNIT
19	名古屋工業大学吹奏楽団
20	名工大ボランティア部
21	NIT FILMS
22	環境委員会 NEP
23	天文部
24	人力飛行機研究会 NIEWS
25	COde
26	日本拳法部

同好会	
1	ブルーグラス
2	シミュレーションゲーム友の会 (SLG)
3	VIC

4	軟式野球サークル Doluckys
5	SF&漫画研究会
6	NITIA
7	格闘ゲーム研究会
8	学生山岳同人 鶴
9	チーム火曜日
10	名工ポケモンサークル Nit Poke
11	TABLE STUDIO
12	NIT PACOD
13	NIT SW
14	就Tレやろーズ!!
15	競技プログラミング部
16	Chuck
17	フィギュアスケート同好会
18	彩綾~ SAYA ~
19	ELF SCHRITT
20	NITJ
21	競技麻雀研究会

# アクセスマップ



JR 東海	名古屋駅	約6分 (中央本線)	鶴舞駅下車名大病院口東へ500m		
地下鉄	名古屋駅	約2分 (東山線)	伏見	約6分 (鶴舞線)	鶴舞駅下車4番出口東へ500m
			のりかえ		
市バス	栄	約14分 (栄18番系統妙見町行き)	名大病院下車東へ200m		

## ■ 表紙デザインについて

2016年4月に実施された学部・大学院の改組を、「飛躍」をテーマに、名古屋のシンボルであり大学学章にも使用されているシャチから勢いよく新学科・専攻が飛び出したことを表現しました。また、2016年11月1日に創立111周年を迎え、矢に見立てた3つの数字1が、上空に放たれた様子がデザインされています。



国立大学法人

## 名古屋工業大学 概要

2016年7月発行

発行  
名古屋工業大学

所在地  
〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町

TEL 052-735-5000

URL <http://www.nitech.ac.jp>

編集  
名古屋工業大学企画広報課 広報室

